

ユーザーマニュアル

CABALLERO
500



FANTIC

挨拶

FANTICの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お買い上げいただいた車両の運転前に、このマニュアルをよくお読みください。本書には、車両メンテナンスや使用に関する情報、アドバイス、警告が記載されています。また、使用上のガイドがシンプルかつ明瞭に記載されています。このマニュアルを活用していただくことにより、お客様は新しい愛車を信頼し、未永く快適にご使用いただけるものと確信しています。

目次

挨拶

はじめに

製造元 (6)

一般情報

シンボルマーク (7)

車両への変更・改造 (7)

一般警告次項 (8)

車台番号 (13)

安全上のルール (15)

使い方と走行 (15)

慣らし運転 (18)

始動と停止 (19)

発進とギアシフト (22)

安全なブレーキ操作 (23)

アンチロックブレーキシステム (ABS) (24)

ライディングアシストテクノロジー (25)

停車 (26)

サイドスタンド (26)

荷物 (27)

サイレンサー (27)

服装 (28)

アクセサリ (28)

輸送 (28)

給油 (29)

ドキュメントホルダー (30)

目次

主要装備

- メインコントロール (Scrambler/Deluxe) (31)
- メインコントロール (Rally) (33)
- パネル操作 (35)

運転の操作と調整

- イグニッションスイッチ (36)
- ステアリング (37)
- エンジンストップボタン (37)
- スタートボタン (38)
- ホーンボタン (38)
- ターンシグナルスイッチ (39)
- ライトス切り替えスイッチ (39)
- ハイビームフラッシュボタン (40)
- ハザードボタン (40)
- サスペンション (Scrambler/Deluxe) (41)
- サスペンション (Rally) (44)
- ヘッドライトとターンシグナル (49)
- ヘッドライトアライメント (49)
- クラッチレバーの調整 (50)
- リアビューミラー (51)

ダッシュボード

- デジタルダッシュボード (52)
- ライディングモードの選択 (57)
- ABSの無効化 / コーナリングABSとトラクションコントロール (TC) (58)
- メニュー画面の設定方法 (59)
- 時計の調整 (60)

目次

- 単位の設定 (61)
- トラクションコントロール (TC) キャリブレーション (61)
- エンジン停止警告 (63)
- システムの異常 (64)

一般的なメンテナンス作業

- 定期点検の重要性 (65)
- 安全規則に則った定期点検 (65)
- お客様が実施する点検作業 (66)
- エンジンオイル (67)
- タイヤ (69)
- クーラント (72)
- ブレーキシステム (74)
- ドライブチェーン (77)
- クラッチレバーの遊び調整 (80)
- トラブルシューティング (82)
- バッテリー (84)
- ヒューズとリレー (86)
- 推奨製品 (91)

メンテナンスプラン

- メンテナンススケジュール (93)

テクニカルデータ (98)

適合 (104)

はじめに

このマニュアルは、車両の構成要素として不可欠なもので、車両を売却する際には必ず車両と共に引き渡す必要があります。

Fantic Motor社ならびにモータリスト合同会社は、記載されているモデル、仕様、および設計データを予告なしにいつでも変更、さらに変更する権利も有します。

本書および本書の一部はFantic Motor社ならびにモータリスト合同会社の承認なしに省略および翻訳することはできません。

弊社の許可なしにこのマニュアルの内容を複製することを禁じます。Fantic Motor社ならびにモータリスト合同会社は、本書の印刷ミスや落丁について一切責任を負いません。

製造元

FANTIC MOTOR S.P.A.

www.fantic.com

刊行：01/2025

コード：V2237005

輸入総代理店

モータリスト合同会社

住所：東京都大田区仲六郷2-41-8


電話：03-3731-2388

シンボルマーク

本書に記載されているシンボルマークマークは非常に重要で、特に注意を払う必要がある内容や警告に関して使用されています。

 **車両およびライダーにとって重要な安全上の規制**

 **車両の仕様や特性に関する情報**

 **締付けトルク**：一カ所または複数個所の締付けトルクを示す記号。示されてる値／手順を守ってください

 **計測値**：摩耗限界値など、示されている値に適合するか否かを判断するための指標です

 **機器**：説明されている作業を実施するために必要な機器、工具等をします

 **消耗品**：油脂、燃料、シーラント、添加剤などの消耗品について、作業に必要な量と規格、商品名が記載されています

車両への変更・改造

純正部品の取外しを含むいかなる変更についても、車両に与えられた設計上の能力を損ない、また安全性を損ない、かつ違法になる恐れがあります。お住まいの国や地域の法規制に従ってください。車両本来の特性の変更を目的とした改造や性能の向上を求める改装などは避けてください。


純正部品に変更を加えることは法令で禁止されているばかりか、車両を法規不適合とし、安全運転を損ねるリスクをはらんでいます。こうした変更、改造は保証を無効にするほか、車両に与えられた有効な認証をも無効にします。

Fantic Motor社ではこうした意図的な改造に起因する人、動物または所有物等への損害や障害について一切の責任を負いません。アクセサリーの取り付けについても使用者が責任を負います。メーカー純正アクセサリーの使用をお勧めします。


一般情報

一般的な警告


高温になる部品

 エンジン、排気装置、ラジエターなどの部品は高温になる場合があります、エンジン停止後もしばらく熱い状態が続くことがあります。車両に接する際には、火傷に注意し、適切な服装と保護手袋等を着用するか、完全に温度が下がるのを待ってください。

一酸化炭素


 排気ガスには一酸化炭素が含まれています。これは人体に有毒であり、死亡する原因となる可能性があります。特定の作業をする場合は必ず屋外か、十分な換気ができる部屋で行ってください。密閉した空間では作業しないでください。密閉された空間で作業する場合は、排気ガスを外部に排出するシステムがある場所で行ってください。

燃料

 使用されているガソリンは非常に可燃性が高く、状況によっては爆発・炎上いたします。給油やメンテナンス作業は、必ず換気の行き届いた場所でエンジンを切った状態で行ってください。

 給油時や蒸発ガスが溜まっていると考えられる付近では喫煙しないでください。裸火、火花その他の火気や爆発源との接触を避けてください。

 メンテナンス作業の際は、適切な衣装、手袋、保護メガネを着用してください。

 燃料は人体に有害です。吸入、摂取のほか、刺激性もあるため皮膚や目に接触すると重大な結果を引き起こす恐れがあります。

 万が一飲み込んだ場合は無理に嘔吐させずにすぐに救急医療センターで手当てを受け、事故の原因と発生状況を報告してください。

 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹼と水で患部を洗い流し、患部に残留物がなくなるまで繰り返してください。

一般情報

⚠ 目に入った場合、直ちに十分な量の水で洗い流し、速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。

⚠ 衣類に付着した場合は、脱いで石鹼と水で完全に洗い流してください。洗う必要のある汚れた衣類はできるだけ速やかに着替えてください。

⚠ 子供の手の届かないところで保管してください。

⚠ 定められていないところに破棄しないでください。

エンジンオイル、ブレーキフルード、サスペンションオイル

⚠ メンテナンス作業の際は、適切な服装、手袋、保護メガネを着用してください。

⚠ エンジンオイル、ブレーキフルード、サスペンションオイルはいずれも人体に有害です。吸入や摂取は絶対に避けてください。皮膚への直接の接触は痛みを伴う刺激を生じることがあります。ブレーキフルードは腐食性があり皮膚や目に接触すると重大な結果を引き起こす恐れがあります。

⚠ 飲み込んだ場合は、嘔吐させずに速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。


⚠ 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹼と水で患部を洗い流し、患部に残留物がなくなるまで繰り返してください。


⚠ 目に入った場合、直ちに十分な量の水で洗い流し、速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。

⚠ 衣類に付着した場合は、脱いで石鹼と水で完全に洗い流してください。洗う必要のある汚れた衣類はできるだけ速やかに着替えてください。

⚠ ブレーキフルードが付着すると、塗装面、プラスチック、ゴム部品に損傷を与える場合があります。整備を行う際には、これらの部品を清潔な布などで保護してください。

一般情報


 子供の手の届かないところで保管してください。


 使用済みのエンジンオイルやサスペンションオイル、ブレーキフルードなどは地域の条例などに従ってオイル廃棄拠点に持ち込み、適切な処理を行ってください。

 定められていないところに破棄しないでください。

クーラント

 メンテナンス作業の際は、適切な服装、手袋、保護メガネを着用してください。

 エンジンが作動中、クーラントには圧力がかけられています。ラジエーターキャップは車両が完全に冷えてから外してください。


 クーラントの成分のエチレン・グリコールは可燃性です。炎は目に見えませんが、重度の火傷を引き起こす可能性があります。

 高温の車両部品に冷却剤をこぼさないように注意してください。


 クーラントは人体に有害です。吸入、摂取のほか、刺激性もあるため皮膚や目に接触すると重大な結果を引き起こす恐れがあります。

 飲み込んだ場合は、嘔吐させずに速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。

 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸と水で患部を洗い流し、患部に残留物がなくなるまで繰り返してください。

 目に入った場合、直ちに十分な量の水で洗い流し、速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。


一般情報

 衣類に付着した場合は、脱いで石鹼と水で完全に洗い流してください。洗う必要のある汚れた衣類はできるだけ速やかに着替えてください。


 子供の手の届かないところで保管してください。


 定められていないところに破棄しないでください。

バッテリー

 この車両にはメンテナンスフリー・バッテリーが搭載されています。電解液のレベル確認、蒸留水の補充は必要ありません。


 バッテリーの保守作業や充電の際は適切な換気措置を講じてください。


 バッテリーは爆発性のガスを放出します。炎、火花、その他の熱源を近づけないでください。

 バッテリーの電解液は有毒です。硫酸を含んでいるため、吸入や摂取などを行うと健康に有害です。また、腐食性を有し、皮膚や目に直接接触すると、痛みや深刻な障害を負わせる恐れがあります。

 飲み込んだ場合は、嘔吐させずに速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。

 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹼と水で患部を洗い流し、患部に残留物がなくなるまで繰り返してください。

 目に入った場合、直ちに十分な量の水で洗い流し、速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。

 衣類に付着した場合は、脱いで石鹼と水で完全に洗い流してください。洗う必要のある汚れた衣類はできるだけ速やかに着替えてください。

一般情報

- ⚠ 子供の手の届かないところで保管してください。
- ⚠ バッテリーの廃棄は地域のルールに従ってください。
- ⚠ 定められていないところに破棄しないでください。

ラジエーター及びクーリングファン

- ⚠ 手やウエスなどを冷却ファンに近づけないこと。
指定された温度に達すると警告なしに突然作動するように設計されています。

一般情報

車両ID

フレーム番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

エンジン番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Fantic Motor の車両には、フレーム番号とエンジン番号が付与されています。フレーム番号が消えたり損傷した時のために、上欄に番号を記録しておくことをお勧めします。

 **固有の識別番号を変更しないでください。重大な罰則や行政処分を受けることがあります。**
さらに、フレーム番号、エンジン番号が識別できない場合、新車のメーカー保証が無効になります。

一般情報

フレームナンバー

車台番号は右側のステアリングチューブに刻印されています。

- ① 右側の画像はサンプルです。
- ① 純正の交換部品をを求める際は、この番号を販売店にお知らせください。



エンジンナンバー

エンジンナンバーは左側のクランクケースに打刻されています

- ① 右側の画像はサンプルです。



安全上のルール

安全に走行するために


人や物へのダメージを避け、より安全に使用するためのヒントを記載します。

車両の使用

車両を使用する際は、全ての法令を順守する必要があります。

車両について十分理解していただくためには、交通量や人が少ない地域で使用してみることをお勧めします。

危険な操作を避けるため、常に両手でハンドルバーを握り、両足をステップに置いてください。運転中は最新の注意を払ってください。

 **飲酒時や服薬の影響を受けている時、特定の医薬品を摂取した後、あるいは肉体的に疲労している時や睡眠不足の際は運転しないでください。この状態は非常に危険であり、運転を行うと人や物に深刻な危害を与える恐れがあります。**

 **乗車前に、エンジンオイル、ブレーキフルード、サスペンションオイルやクーラントなどの油脂類の漏れがないか点検してください。**

運転の際は路面の状態、視界、天候をよく観察し常に安全に考慮してください。安全に運転するのが難しい状況では、速度を落とし、慎重に運転してください。

濡れた路面での最初のブレーキの効きは弱いです。このような条件下では頻繁にブレーキをかけることをお勧めします。

 **ブレーキにはABSシステムが搭載されていますが、濡れた路面や未舗装路、滑りやすい路面では十分に注意してください。**

砂や泥のある路面や除雪剤がまかれた道路を走行すると、ブレーキパッド内部に泥や砂などが入り込み摩耗しやすくなります。これを防ぐため、ブレーキディスク、キャリパーを点検し、必要に応じて洗浄することをお勧めします。

車両への乗り降りでは、身体の動きを妨げるものが周囲に無い状況で行ってください。

乗り降りではサイドスタンドを下げた状態で常に車両の左側から行き、バランスを崩して転倒しないよう注意してください。

 **ライダーは常に同乗者より先に乗車、後に降車し、同乗者が乗降中の車両の安定はライダーが確保してください。**

安全上のルール

乗車

ハンドルバーを正しく支え、自身の体重をサイドスタンドに掛けることなく乗車します。片足を必ず地面につけ、車両を直立させて走り出せる準備をします。


- ① サイドスタンドは車両単体の重量を支える設計です。ライダーや同乗者の体重を支えるようには設計されていません。
- ① 乗車時に両足を地面に着けられない場合や、不安定になった時やバランスが崩れた場合、車両の左側はサイドスタンドがあるため、右足を地面に着くようにしてください。
- ① ライダーは同乗者に乗車の仕方を伝えてください。同乗者は細心の注意を払い、車両がバランスを崩さないように乗車します。
- ① 同乗者は左側のフットレストを使い、常に左側から乗車します。

ライダーは左足でサイドスタンドをはらって収納します。

降車

平坦で障害物の無い、駐停車に適した場所に車両を止めます。左足でサイドスタンドを完全に引き出します。


- ① 降車時に両足を地面に着けられない場合や、不安定になった時やバランスが崩れた場合、車両の左側はサイドスタンドがあるため、右足を地面に着くようにしてください。
- ① 同乗者は左側のフットレストを使い常に車両の左側から降車します。
- ① ライダーは同乗者に降車の仕方を伝えて。同乗者は細心の注意を払い、車両がバランスを崩さないように降車します。

 同乗者は車両から飛び降りたり、足を地面に着こうと無理に足を伸ばして降りたりしないでください。車両のバランスが崩れ、最悪、車両が倒れる可能性があります。

安全上のルール

サイドスタンドが地面に接地するまで車両を傾けます。ライダーの降車後、ハンドルバーを左へ完全に回して下さい。

 車両が静止し安定していることを確認します。

 車両の損傷を防ぐため、ライセンスプレートホルダーフレームを持って車両を持ちあげないでください。

安全上のルール

慣らし運転

エンジン

走行距離1000kmまではエンジンの寿命を決めるうえで最も重要です。下記の手順に注意深く従ってください。新品のエンジンでは、最初の1000kmはエンジンに過大なストレスを与えてはいけません。この期間中、エンジン内部の部品が個々に消耗し、また締結、接触する部品同士がなじみ、最終的に正しい公差に落ち着いていきます。慣らし運転中は、長時間にわたる全開走行や、エンジンをオーバーヒートさせるような状況では使用しないでください。

0-500 km

- エンジン回転数5000 rpmを越える長時間の走行は避けてください。
- 1時間走行後、エンジンを切り5分~10分間冷却してください。
- 一定のエンジン回転数で走り続けずに、エンジン回転数を変えながら走行してください。

500-1000 km

- エンジン回転数7000 rpmを越える長時間の走行は避けてください。
- さまざまなギアを選びながら自由に加速できますが、フルスロットル（全開）は避けてください。

 **走行距離がおよそ1000kmに達したら、Fantic Motor 正規取扱店にて最初のサービスを受けてください。**

1000 km 以上

- 初回サービス完了後は、通常通りに使用できます。

 **エンジン回転数がレッドゾーンを越えないように注意してください。**

 **慣らし運転中にエンジンに不具合が生じた場合はFantic Motor 正規取扱店へ直ちに連絡してください。**

ブレーキシステム

ディスクローターとブレーキパッドが適正に接触するよう、慣らし運転が必要です。慣らし運転は約200kmを郊外で走行してください。この期間中は制動距離を長くとり、レバーを強く操作してください。急ブレーキや、長時間のブレーキ操作は避けてください。

安全上のルール

車両電源のON/OFF

始動

メインキーを時計回りに回してステアリングロックを解除します。車両にまたがり正しい姿勢を取ります。サイドスタンドが正しく格納されていることを確認します。

⚠ サイドスタンドが下がっている状態では、ギアがニュートラルの場合のみ、エンジンの始動が可能です。その状態でギアを変えるとエンジンは停止します。



安全のため、エンジンを始動する前にフロントブレーキもしくはリアブレーキをかけ、ギアがニュートラルであることを確認し、クラッチレバーを握ってください。




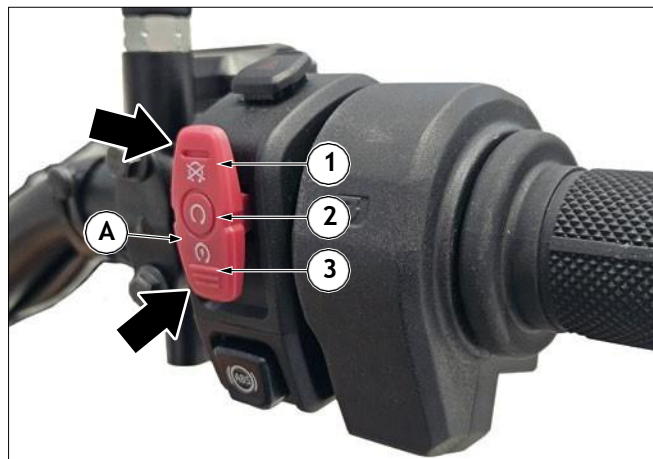
安全上のルール

イグニッションキーを（ON）の位置に回しデジタル・ダッシュボードの起動動作から標準画面が表示されるまで数秒間待ちます。



エンジンを始動するにはボタン“A”の位置を①から②に動かします次に③の位置でボタンを押してエンジンを始動します。

 エンジンを適切に温めるため、最初の数キロメートルは低速で運転することを推奨します。エンジンが温まる前に急激に発進しないでください。



安全上のルール

エンジンの停止

⚠ 車両走行中にエンジンストップスイッチを操作しないでください。車両が突然停止し、エンジンが損傷するおそれがあり、車両が制御不能になる可能性があります。

⚠ クラッチを不要に、また急激に操作しないでください。突然の操作によりエンジンがストールしたり、制御不能な加速により前輪が浮き上がる可能性があります。

⚠ 急発進・急停車は避けてください

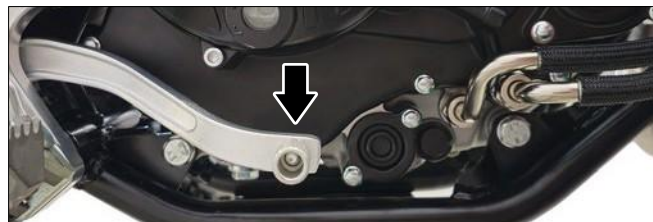
フロントブレーキ／リアブレーキ、クラッチを同時にスムーズに操作し、車両が完全に停止するまで徐々に減速します。クラッチレバーを握り、ギアをニュートラルの位置にします。次にイグニッションキーを反時計回りに回して（OFF）の位置にします。エンジンストップスイッチを操作します。（エンジンストップスイッチの項目をご参照ください）

サイドスタンドを下げ、車両の左側から降車します。

必要に応じて、ステアリングをロックします。

（ステアリングロックの項目をご参照ください）

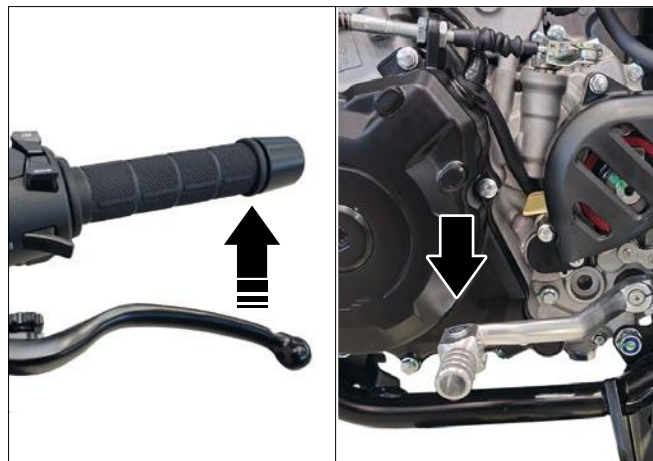
① イグニッションキーをOFF位置に回し忘れると、バッテリーの充電レベルが低下し、バッテリー交換が必要になる恐れもあります。



安全上のルール

走行開始と変速

エンジンを始動し、十分な暖気の後、クラッチレバーを握り込みます。左足にあるギアシフト・ペダルを下方方向に操作してギアを1速に入れます。この時、ダッシュボードのニュートラルインジケータ・ランプ（N）が消灯します。



クラッチレバーをゆっくりリリースし、同時にスロットルをひねり、車両を前進させます。

⚠ エンジンの損傷を防ぐため、エンジン回転数が9500rpmを越えないように設計されています。
（タコメーターの表示に関しては「デジタル・ダッシュボード」の項目を参照）



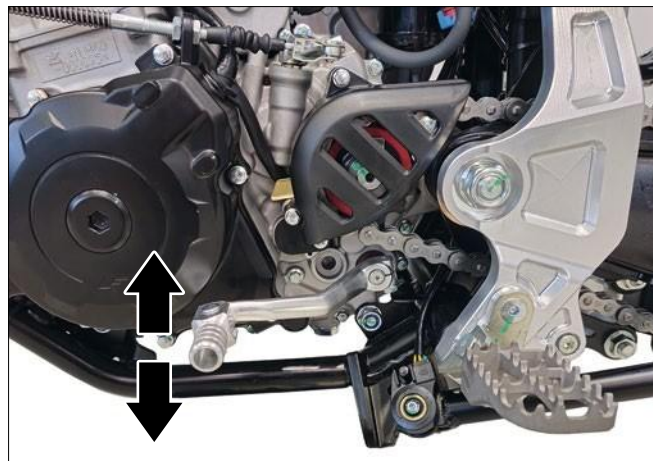
安全上のルール

変速

ギアチェンジを行うには、スロットルコントロールノブを緩め、クラッチレバーを操作して、ギアボックスペダルを上げてシフトアップ、ペダルを下げてシフトダウンします。

① 運転初心者の場合、車両の操作部とその機能についてよく習熟しておくことが重要です。

⚠ ギアは1速ずつシフトしてください。一度に1速より多くシフトアップ、シフトダウンすると、エンジン回転数が上がり、規定の回転数を超える可能性があります。



安全な制動

① 適切な速度に落としシフトダウンによりエンジnbrakeを有効に、前後両方のブレーキを用いてバランスよく減速します。

① 車両が完全に停止する前にクラッチレバーを握り、エンジンが突然停止するのを防ぎます。

⚠ 濡れた路面や未舗装路、滑りやすい路面（砂利や落ち葉、凍結など）ではグリップを失いやすいため、十分に注意してください。急ブレーキや、過度なフロントブレーキの使用は控えてください。

安全上のルール

アンチロックブレーキシステム(ABS)

この車両にはABSが搭載されています。選択したライディングモードに応じて前輪のみ、もしくは両輪に介入します。詳しくは「ライディングモード」の項目を参照

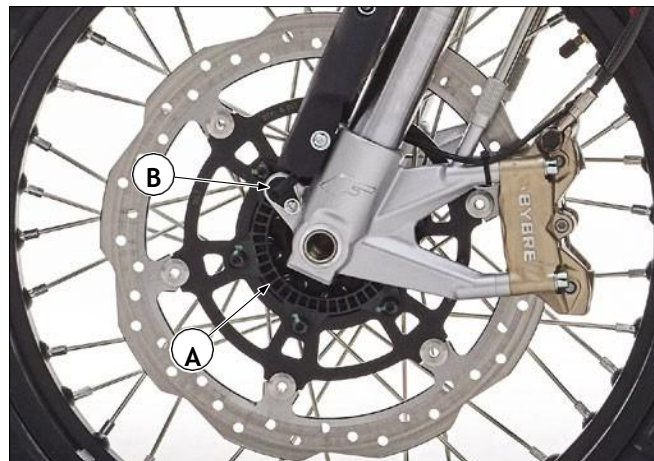
ABSは、検出用ホイール（右図A）がロックする状況をセンサー（右図B）が検出することにより、ブレーキシステムに与えられた油圧を制御してホイールがロックすることを防ぐ電子式油圧作動システムです。

このシステムは一般的なブレーキシステムを比較すると、車両の安定性を増し、転倒などのリスクを低減することが可能になります。


⚠ 車体やタイヤの持つグリップ性能を越えないようにしてください。適切な速度で、常に天候と路面状況を考慮に入れて走行することはライダーの責務です。ABSは、ライダーの判断ミスや車両の不適切な使用を補正することはできません。

⚠ バッテリーに不具合が発生した場合ABSシステムは機能しません

⚠ 時速5km/h以下の速度ではABSは作動しません。低速時やグリップが低い状況でのブレーキには十分注意してください。



安全上のルール

 ABSシステムは、ホイールからの情報を受信して、両方の前後両輪に介入します。常にセンサーの溝に汚れが付着していないことを確認し、センサーからの距離が一定であることを定期的に確認してください。確認や調整については、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

ライディングアシストテクノロジー


この車両には、様々な走行条件においてより高い安全性と制御性を確保するよう設計された、高度な電子式システムが搭載されています。「STREET」ライディングモードでは、これらの機能は常に有効です。無効にするには、「ライディングモードの選択」項目を参照してください。

トラクションコントロール(TC)

トラクションコントロールは、ABSとIMUからの信号を利用し、前後ホイールのスリップを認識し、スリップが発生した場合にエンジンパフォーマンスを制限します。このシステムは単一の作動設定を提供します。

コーナリングABS




このABSシステムは、車両が旋回中であってもABSの機能を発揮できるものです。車両の状態や道路状況によって許容される物理的制限内で車輪のロックやスリップを検知し、安全性を担保する仕組みです。

 「コーナリング」機能に不具合が発生した警告灯が点灯した場合でも、車両は通常のABS機能を維持しますが、速度を落としてFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

安全上のルール

パーキング

駐車スペースは慎重に選び周囲の状況に注意してください。道路標識や下記に説明する内容を順守することは非常に重要です。

-  車両を壁に立てかけたり、地面に横倒しにして駐車しないでください。駐車場所は安定していて水平であることを確認してください。
-  高温になる可能性のある部品（サイレンサー、エンジン、ラジエーター、ブレーキディスク等）が周囲の人々に危険を及ぼさないことを確認してください。
-  エンジンがかかった状態や、キーを挿した状態では決して車両から離れないでください。

盗難防止のヒント

イグニッションキーをオンにしたまま車両を離れないでください。駐車時は常にステアリングロックを使用してください。車両はガレージなど安全な場所に駐車してください。


サイドスタンド


-  走り出す前にサイドスタンドが完全に格納されていることを確認してください。サイドスタンドに自分自身や同乗者の体重をかけないでください。

サイドスタンドはフレーム左側にあります。車両を真っすぐに保ちながら左足で上げ下げしてください。

サイドスタンドにはイグニッションサーキットブレーカーシステムが装備されており、次の機能があります。

- クラッチレバーを引いていない状態で、ギアを入れてサイドスタンドを上げた場合の始動を防止します。
- ギアが入っていてクラッチレバーが引かれている場合でも、サイドスタンドが下がっている状態では始動できません。
- ギアが入っていて、サイドスタンドが降ろされるとエンジンは停止します。

 サイドスタンドセンサーは、点火回路遮断システムの一部です。このシステムにより点火を停止することができます。

-  サイドスタンド制御システムおよびサイドスタンド自体の動作を定期的を確認する必要があります。故障または誤動作の場合は、Fantic Motor 正規販売店に修理をご依頼ください。

安全上のルール

荷物

車両に荷物を積載すると、車両のバランスが変わり運転に支障をきたすことがあります。荷物は車両の重心付近に積載し、確実に固定してください。ハンドルバー、フォーク、マッドガード、ナンバープレートホルダーに荷重はかけないでください。荷物の固定が不十分だと、オートバイの安定性が損なわれる他、コーナリング時のハンドリングに大きな影響を及ぼす可能性があります。大き過ぎる荷物の積載はなるべく避けてください。荷物を適正な位置に積載し、灯火類や警告灯などを隠さないよう十分に注意してください。

サイレンサー

このパーツは、排気ガスの一酸化炭素を酸化して二酸化炭素に変換し、不燃の炭化水素を水蒸気に変換し、窒素酸化物を酸素と窒素に変換して窒素酸化物を削減する機能を担っています。

① 車両の使用時、エキゾーストシステムの触媒エレメントに対応する部分は鮮やかな赤色を帯びる場合があります。この色の変化は正常であり、触媒の正しい動作を示します。

⚠ 乾燥した茂木がある場所の近くでは、車両を停止したり駐車したりしないでください。

⚠ 子供および／または人々が近づく可能性のある場所は避けてください。

⚠ サイレンサーは高温になるため、接触を避け、完全に温度が下がるまでは最大の注意を払ってください。

⚠ エキゾーストシステムを改造、変更、改ざんすることは禁じられています。

⚠ 有鉛ガソリンは触媒にダメージを与えるため、使用しないでください。

エキゾーストシステムに穴や錆または損耗の兆候が無いか確認してください。エキゾーストシステムが常に正しく作動することを確認してください。ノイズが大きくなったり異音が発生した場合は、できるだけ早くFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

⚠ メンテナンス、修理、交換作業の際はFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

安全上のルール

服装

ヘルメットは必ず着用してください。そのヘルメットも、車両が走行する国の認可を受けたもので、損傷が無く、バイザーに傷や汚れが無いものを着用してください。走行に適切な保護性能のあるウェアを着用し、走行時に邪魔になる可能性のあるアクセサリーや、転倒時に危険となる可能性がある尖った物は身に着けないでください。

① これら全ての事柄は、同乗者にも適用されます。

アクセサリ

Fantic Motor社は正規販売店から入手できる純正アクセサリの使用を推奨します。取付けるアクセサリが純正品でない場合アクセサリの選択と取付けの一切はユーザー個人の責任にて行ってください。そうしたアクセサリであっても以下の点に注意してください。

- 周囲の人、環境、ライダー自身に危害を与えないこと
- サスペンショントラベル（ストローク）の規制をしないこと
- 灯火類、ホーンなどの一部もしくは全部を覆わないこと
- ステアリング、ブレーキ、スロットルなどコントロール類の操作の妨げにならないこと
- ハンドルの切れ角を規制しないこと
- コーナリング中の車両の傾斜角を規制しないこと

大型のフェアリングやウィンドシールドは車両の安定性を損なう可能性があります。特定のFantic Motor純正品以外の電気機器を取付けたり改造しないでください。出力を損ねたり、電源が遮断される恐れがあります。

輸送

車両を輸送する場合、フューエルタンクの燃料を完全に空にする必要があります。予期せぬ燃料漏れを防ぎ、それらパーツが完全に乾燥していることを確認してください。安定した状態でギアは1速に入れ、車両をしっかりと固定する必要があります。

⚠ 故障時には牽引や安全性に問題のある処置を行わないでください。人および／または器物を危険にさらす可能性があります。事故を引き起こしたり、車両の損傷につながるおそれがあります。

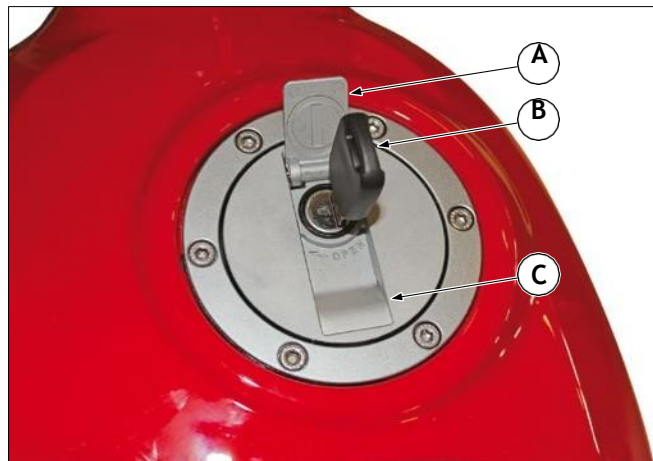
安全上のルール

給油

- ⚠ 給油時は、喫煙したり火気を使用したりしないでください。電気機器および火花や着火の原因となるものは使用を避けてください。これらのルールに従わなかった場合、火事や爆発の危険があり、器物および／または人に深刻な危害を与えるおそれがあります。
- ⚠ 給油時に燃料に添加剤やその他の物質を加えないでください。
- ⚠ 燃料が漏れないように注意してください。じょうごを使用する際は、清潔であることを確認してください。
- ⚠ 本マニュアルの仕様に記載されているタイプの燃料を使用してください。異なる油種を仕様しないでください。燃料システムを損傷し、エンジンの作動に影響を与える場合があります。

給油する際は、カバー“A”を開けます。
キー“B”を差し込み、反時計回りに回します。
キャップ“C”を上げて給油します。

- ⚠ 始動前にタンクキャップが閉じていることを確認します。



安全上のルール

ドキュメントホルダー

シートの裏には書類ホルダーが備わっています。車検証やその他の小さい書類を保管するのに便利です。

ドキュメントホルダーを利用するには

- シートを外します「バッテリーの取外し」項目を参照
- ゴムバンド“B”を外してから、ドキュメントホルダー“A”を取り出します。

- ① ドキュメントホルダー使用後はシートを元に戻し正しく固定されていることを確認してください。



車両各部の名称と機能

メインコントロール (SCRAMBLER/DELUXE)

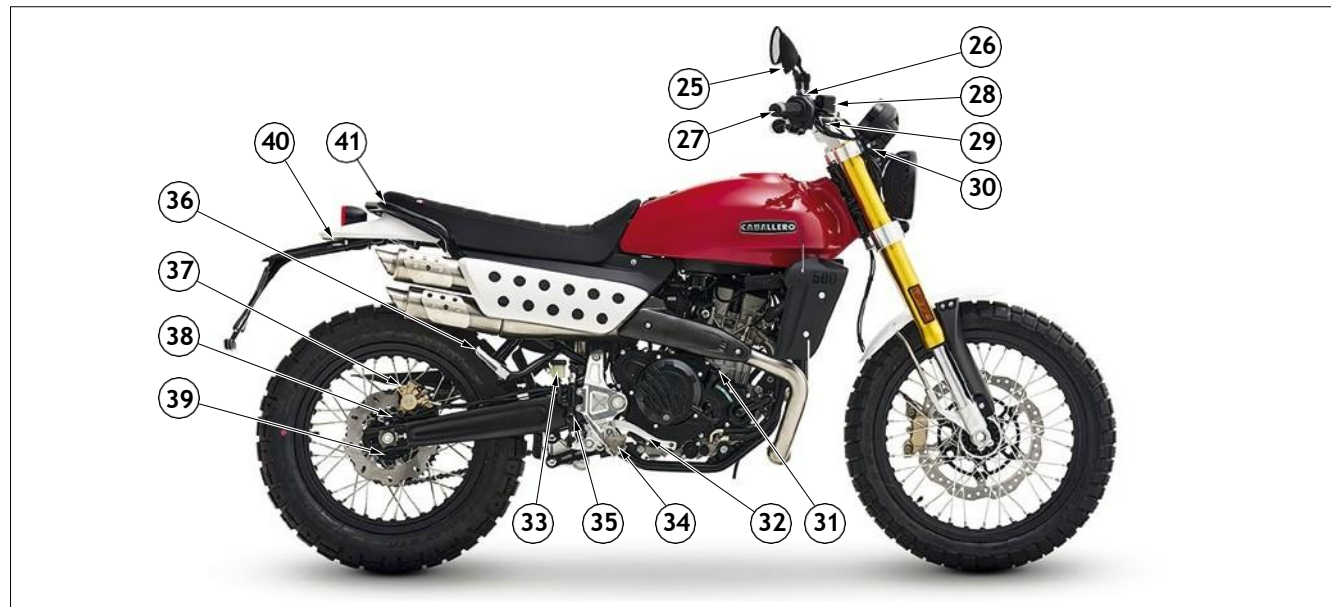


- 1. ヘッドライト
- 2. 左フロントウインカー
- 3. デジタル・ダッシュボード
- 4. クラッチレバー
- 5. 左ハンドルスイッチ
- 6. 左バックミラー
- 7. 燃料タンクキャップ
- 8. 燃料タンク
- 9. シート (ライダー&パッセンジャー)

- 10. 左リアハンドル
- 11. リアフェンダー
- 12. テールライト
- 13. ライセンスプレートホルダー
- 14. ナンバー灯
- 15. 左リアウインカー
- 16. 左パッセンジャーフットレスト
- 17. 左ライダーフットレスト
- 18. サイドスタンド

- 19. ギアシフトレバー
- 20. ラジエター
- 21. フロントブレーキキャリパー
- 22. フロント・スピードセンサー
- 23. フロントホイール検出リング
- 24. タイヤ/チェーン表示ラベル

車両各部の名称と機能



- 25. 右バックミラー
- 26. 右リアハンドル
- 27. 電子制御スロットル
- 28. フロントブレーキマスターシリンダー
- 29. フロントブレーキレバー
- 30. 右フロントウインカー
- 31. エンジンオイルフィルターキャップ
- 32. リアブレーキレバー
- 33. リアブレーキオイルタンク

- 34. 右ライダーフットレスト
- 35. リアブレーキマスターシリンダー
- 36. 右パッセンジャーフットレスト
- 37. リアブレーキキャリア
- 38. リアスピードセンサー
- 39. リアホイール検出リング
- 40. 右リアウインカー
- 41. 右リアハンドル

車両各部の名称と機能

メインコントロール (RALLY)



1. ヘッドライト
2. 左フロントウインカー
3. デジタル・ダッシュボード
4. クラッチレバー
5. 左ハンドルスイッチ
6. 左バックミラー
7. 燃料タンクキャップ
8. 燃料タンク
9. シート (ライダー&パッセンジャー)

10. 左リアハンドル
11. リアフェンダー
12. テールライト
13. ライセンスプレートホルダー
14. ナンバー灯
15. 左リアウインカー
16. 左パッセンジャーフットレスト
17. 左ライダーフットレスト
18. サイドスタンド

19. ギアシフトレバー
20. ラジエター
21. フロントブレーキキャリパー
22. フロント・スピードセンサー
23. フロントホイール検出リング
24. タイヤ/チェーン表示ラベル

車両各部の名称と機能

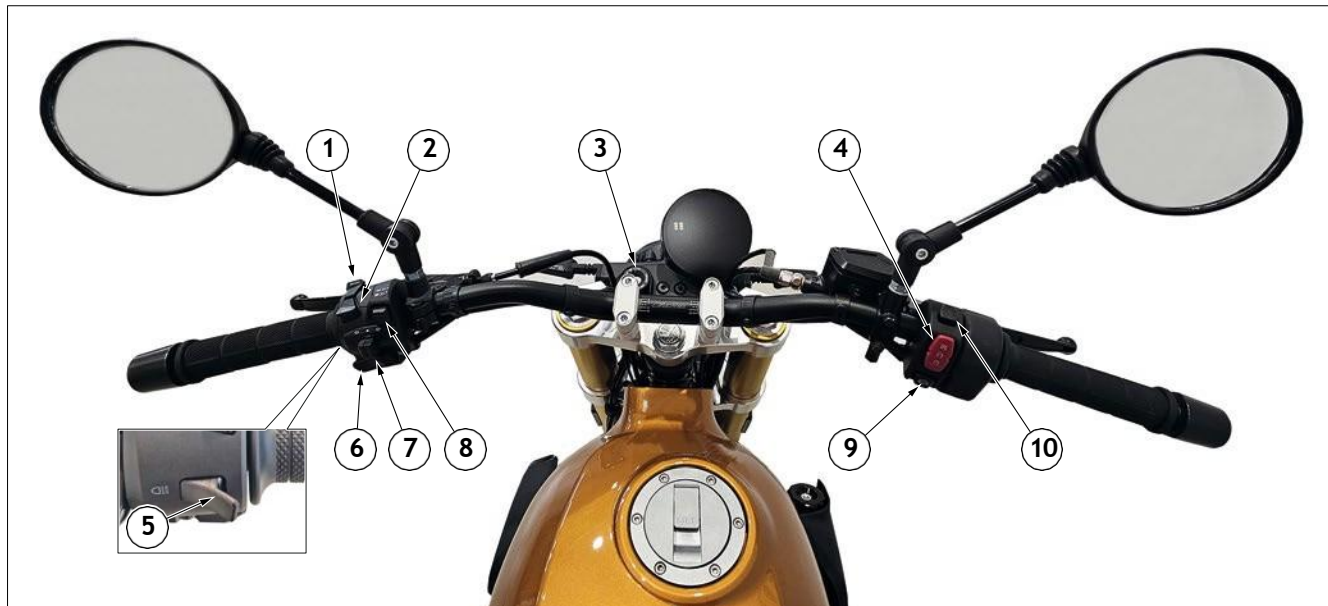


- 25. 右バックミラー
- 26. 右リアハンドル
- 27. 電子制御スロットル
- 28. フロントブレーキマスターシリンダー
- 29. フロントブレーキレバー
- 30. 右フロントウインカー
- 31. エンジンオイルフィルターキャップ
- 32. リアブレーキレバー
- 33. リアブレーキオイルタンク

- 34. 右ライダーフットレスト
- 35. リアブレーキマスターシリンダー
- 36. 右パッセンジャーフットレスト
- 37. リアブレーキキャリア
- 38. リアスピードセンサー
- 39. リアホイール検出リング
- 40. 右リアウインカー
- 41. 右リアハンドル

車両各部の名称と機能

パネルコマンド



1. モードボタン
2. セレクトボタン
3. イグニッションスイッチ
4. エンジンスタート/ストップボタン
5. ハイビームフラッシャーボタン
6. ホーンボタン
7. ウィンカースイッチ
8. ロービーム/ハイビーム切り替えボタン
9. ABSボタン

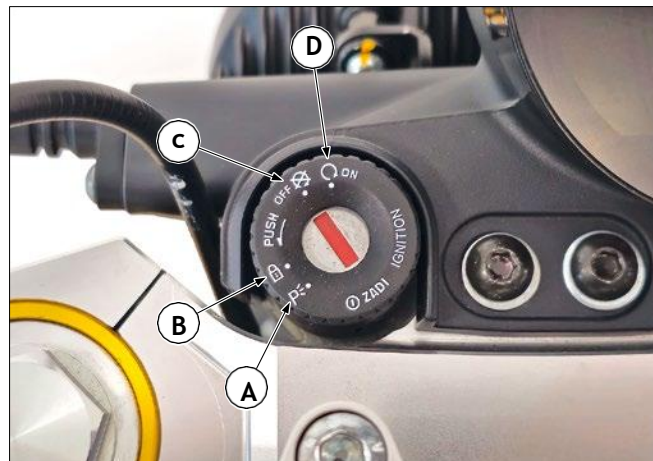
10. 非常警告灯（ハザード）スイッチ

運転のための操作と機能

イグニッションスイッチ

イグニッションスイッチは車両前方、ダッシュボード付近にあります。イグニッションスイッチの機能は次の通りです：

- A. ハンドルがロックされ、ヘッドライトとテールライトのポジションランプが点灯します。キーは取り外すことができます
- B. ハンドルがロックされ、車両の始動やライトの点灯はできません。キーは取り外すことができます。
- C. 車両の始動やライトの点灯はできません。キーは取り外すことができます。
- D. 車両を作動させることができますが、キーを取り外すことはできません。



- ① 車両にはキーが2つ付属しており、そのうちの1つはスペアキーです。スペアキーは車両と別の場所に保管してください。
- ① イグニッションスイッチを“C”の位置にするとライトは消灯します。
- ① キーは、イグニッションスイッチに加え、フューエルタンクキャップやシート開閉の作動も兼ねています。
- ① キーを（ON）にするとポジションランプが自動的に点灯します。車両を始動すると、ヘッドライトが自動的に点灯します。

運転のための操作と機能

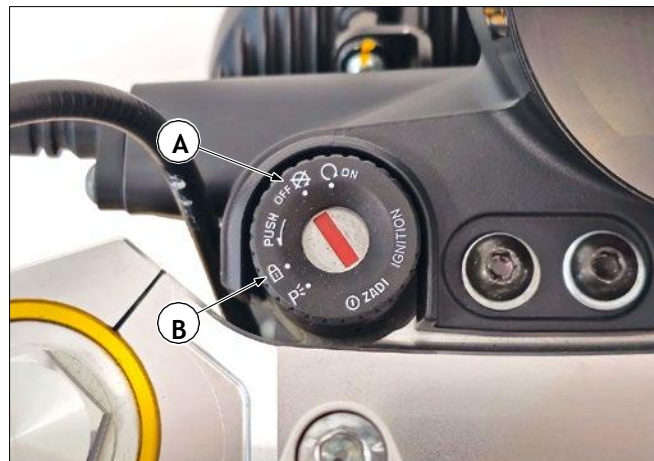
ステアリングロックの方法

イグニッションキーの位置を“A”（OFF）にします

サイドスタンドを出して降車します

イグニッションキーを押しながら反時計回りに回し“B”の位置にします。ステアリング（ハンドル）をゆっくり左右に動かしながらハンドルロックが収まる位置を探します。

ハンドルロックを確認後、キーを抜きます



エンジントップボタン

このボタンを押すとエンジンが停止します。

安全機能および緊急スイッチの機能を果たします。

⚠ 車両走行中にこのボタンを押さないでください。エンジンが停止します。車両がコントロールを失い、事故の危険性が高まり、器物や人を危険にさらす恐れがあります。



運転のための操作と機能

スタートボタン

キーを挿入してONの位置にし、ギアがニュートラルで、エンジン停止スイッチが無効の状態でのボタンを押すと、エンジンが始動します。



ホーンボタン

このボタンを押すとホーンがなります。



運転のための操作と機能

ウインカースイッチ

スイッチを左または右に押し、方向を示します。スイッチを押して中央の位置に戻るとウインカーが停止します。

スイッチが中央の位置にあるとウインカーは点滅しません。



ロービーム/ハイビーム切り替えスイッチ

このボタンを押すとハイビームが点灯します。

再度押すと、ハイビームは解除され、ロービームが点灯します。



運転のための操作と機能

パッシングスイッチ

このボタンを押すことで、ハイビームを点灯することができます。
通常は、危険があったり緊急事態の時に使用します

ボタンから手を放すとパッシング機能は解除されます。



非常警告灯（ハザードランプ）

このボタンを押すと、前後左右のウインカーが同時に点滅し、非常警告灯として機能します。

これにより周囲の運転者たちが緊急事態の発生、あるいは路上に何らかの危険が生じていることなどに気づくことができます。

ボタンをもう1度押すと、この機能は解除されます。



運転のための操作と機能

サスペンション (SCRAMBLER/DELUXE)

フロントサスペンション

⚠️ フロントサスペンションオイルの交換時は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「フォーク」の項目を参照してください。



点検

フロントブレーキレバーを繰り返し握り、フォークを圧縮します。ストロークがソフトで、ロッドにオイル漏れの痕跡が無いことを確認します。

⚠️ 故障が見つかった場合や専門技術者に相談する必要がある場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

調整

このタイプのサスペンションは調整が不要です。サスペンションの基本設定はFantic Motor が実施済みです。



運転のための操作と機能


リアサスペンション

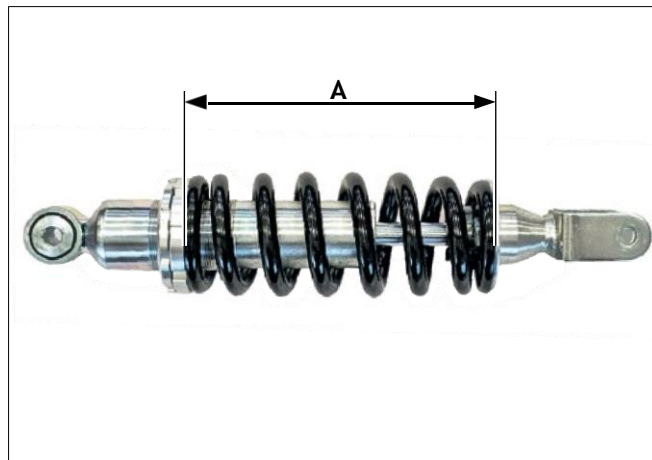
メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「リアショックアブソーバー」の項目を参照してください。


リアサスペンションは、上部がフレームに、下部がスイングアームのリンクに接続されています。ショックアブソーバーとリンケージユニットで構成されています。

ショックアブソーバー・プリロード調整

基本設定（スプリングプリロード）“A”は、Fantic Motor社が実施済みです。


 172 mm



 調整に際して十分な知識がない場合は、車両にダメージを与えたり、運転の安全性の低下を避けるため、Fantic Motor 正規販売店へご相談ください。

 調整作業を行うには2本のフックレンチが必要です。


路面状況や車両への積載量に応じて調整の必要が生じた場合、下記の範囲でスプリングプリロード“A”の調整が可能です。

 図“A”の幅の最小値：147 mm
図“A”の幅の最大値：179 mm


 エンジンが十分に冷えていることを確認してから調整を行ってください

運転のための操作と機能

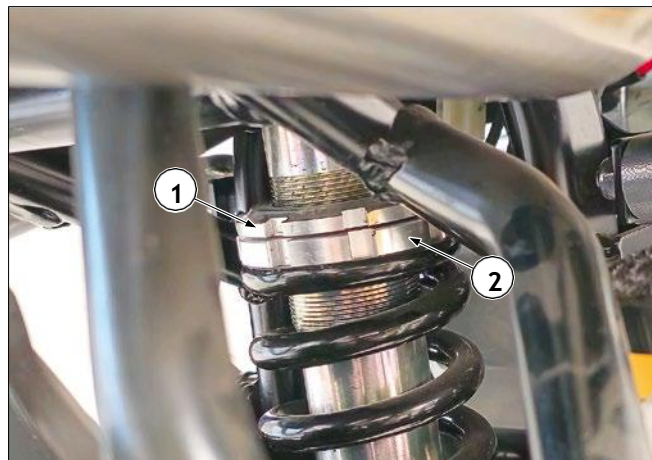
- 2本のフックレンチを使用して固定リングナット“1”を緩め、リングナット“2”を希望の位置まで回します。

 **ロックナットの外径：68 mm**

- 図のプリロード値“A”を測り、制限値内であることを確認します。
- 保持用のリングナット“1”を再度締めます。

 **リングナットを調整する際に、フックレンチを車両の他の部位に当てて傷をつけたり、自身が怪我をしないよう特に注意する必要があります。**

 **損傷を避けるため、リミットを超えて（両方向に）無理に回転させないでください。**



運転のための操作と機能

サスペンション (RALLY)

フロントサスペンション

⚠ フロントサスペンションオイルの交換時は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「フォーク」の項目を参照してください。

点検

フロントブレーキレバーを繰り返し握り、フォークを圧縮します。ストロークがソフトで、ロッドにオイル漏れの痕跡が無いことを確認します。

⚠ 故障が見つかった場合や専門技術者に相談する必要がある場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

調整

このタイプのサスペンションは調整が可能です。

① フロントフォークの標準値は、多様なライディングスタイルと状況に適応するように設定されています。

⚠ 調整に際して十分な知識がない場合は、車両にダメージを与えたり、運転の安全性の低下を避けるため、Fantic Motor 正規販売店へご相談ください。



運転のための操作と機能

⚠ 車両の安全性を確保するためにサスペンションは前後で均一に調整されていることを確認してください。

左側のフォークには2つのダンピング調整が備わっています
- コンプレッション（圧側減衰力）アジャスター
- リバウンド（伸側減衰力）アジャスター

コンプレッション側を初期値に調整するには、最初に調整スクリュー“**A**”を時計回りに完全に回す必要があります。

調整スクリュー“**A**”を反時計回りに12クリック回します。

⚠ 調整スクリューは慎重に操作してください。部品に致命的な損傷を与える恐れがあるため、全開または全閉のエンドストップを越えて無理に回さないでください。

クリック数“A**” = 22 (完全に閉じた状態から)**

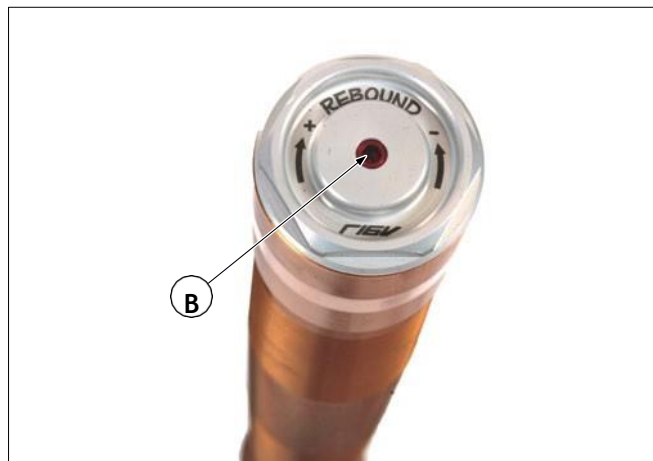
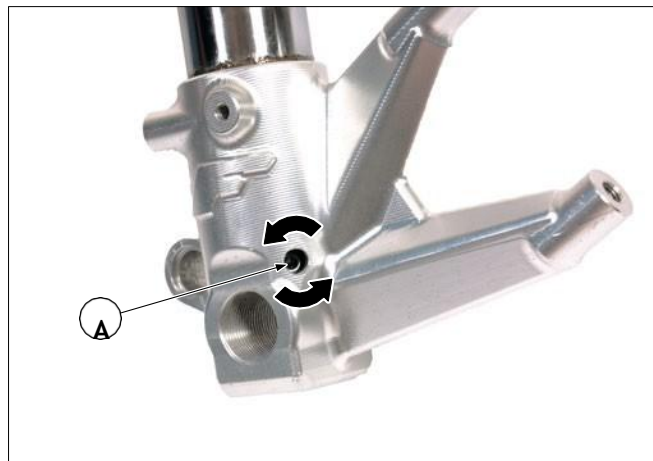
標準クリック値 “A**” = 12 (完全に閉じた状態から)**

リバウンド側を初期値に調整するには、最初に調整スクリュー“**B**”を時計回り「+」に完全に回す必要があります。

調整スクリュー“**B**”を反時計回り「-」に10クリック回します。

クリック数“B**” = 20 (完全に閉じた状態から)**

標準クリック値 “B**” = 10 (完全に閉じた状態から)**



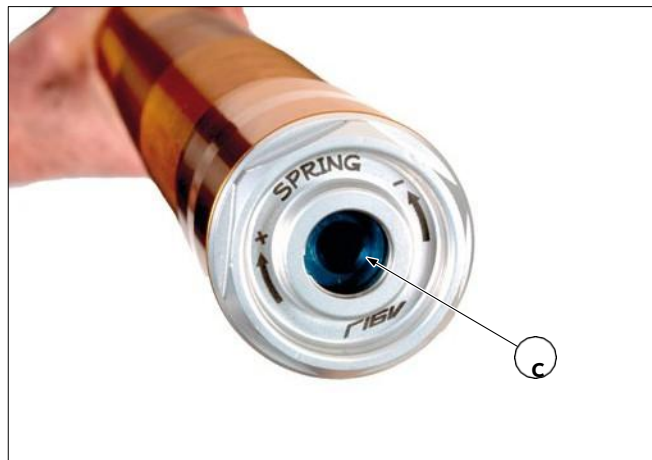
運転のための操作と機能

右側フォークには、スプリングプリロード（初期荷重）のみ調整が備わっています。スプリングプリロードを初期値に調整するには、最初にスクリュー“C”を反時計回り「-」に完全に回す必要があります。

調整スクリュー“C”を時計回り「+」に5回転回します。

回転数“C” = 10（完全に開いた状態から）

標準回転数“C” = 5（完全に開いた状態から）

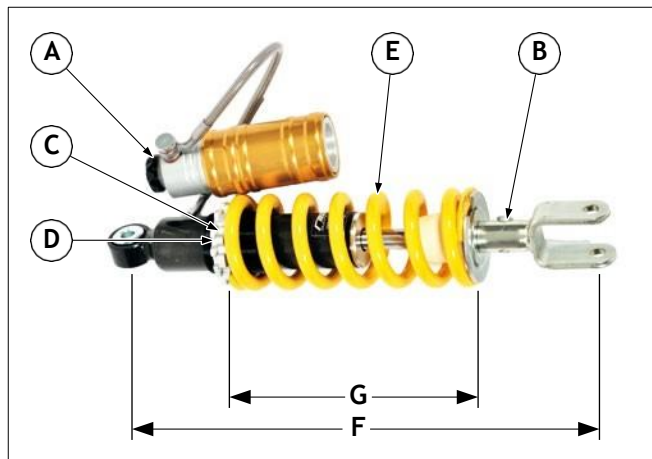


リアサスペンション

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「リアショックアブソーバー」の項目を参照してください。

リアショックアブソーバーには以下の調整機構が備わっています：

- A. コンプレッション（圧側減衰力）アジャスター
- B. リバウンド（伸側減衰力）アジャスター
- C. スプリングプリロード（初期荷重）アジャストリングナット
- D. スプリングプリロード（初期荷重）ロックリングナット
- E. リアショックアブソーバー・スプリング
- F. プリロード調整後のショックアブソーバー全長
- 推奨値 = 344 mm
- G. スプリングプリロード
- 推奨値 = 176 mm



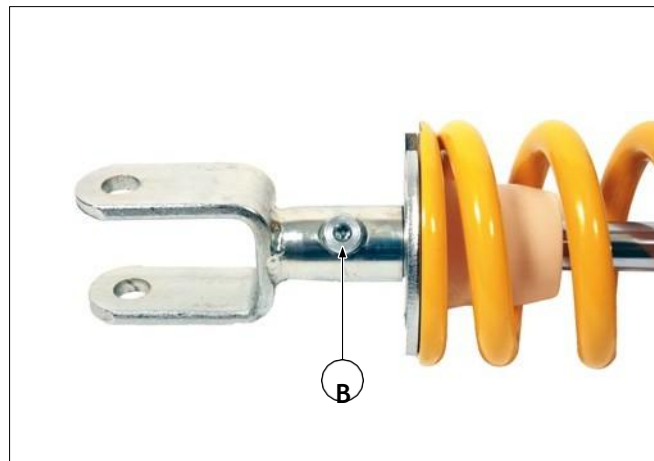
運転のための操作と機能

ショックアブソーバー調整

① リアサスペンションの標準値は、多様なライディングスタイルと状況に適合するように設定されています。

⚠ 調整に際して十分な知識がない場合は、車両にダメージを与えたり、運転の安全性の低下を避けるため、Fantic Motor 正規販売店へご相談ください。

✂ スプリングプリロードを調整するには、2本のフックレンチを用意する必要があります。



リアショックアブソーバーのリバウンド（伸側減衰力）を初期値に調整するには、最初に調整スクリュー“B”を時計回りに完全に回す必要があります。

調整スクリュー“B”を反時計回りに8クリック回します。

クリック数“B” = 16 (完全に閉じた状態から)

標準クリック値 “B” = 8 (完全に閉じた状態から)

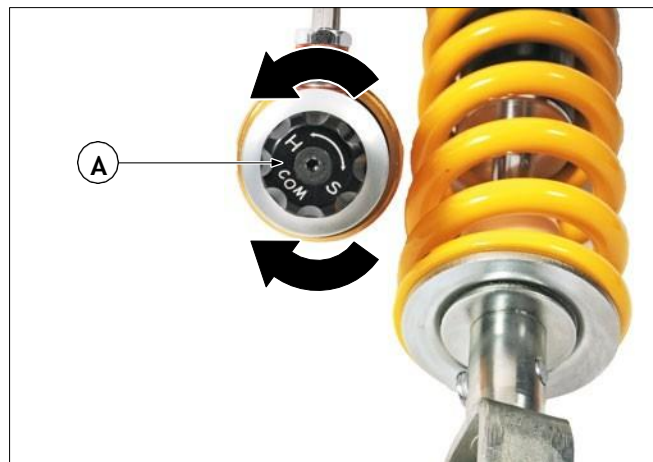
運転のための操作と機能

コンプレッション側を初期値に調整するには、最初に調整スクリュー“A”を時計回りに完全に回す必要があります。

調整スクリュー“A”を反時計回りに13クリック回します。

クリック数“A” = 24(完全に閉じた状態から)

標準クリック値“A” = 13(完全に閉じた状態から)



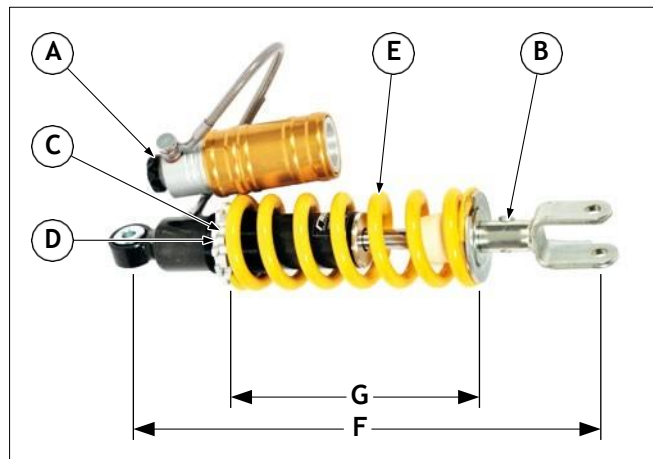
リアショックアブソーバーのプリロードを次の手順で調整します：

- ロックリングナット“D”を緩めます
- アジャストリングナット“C”を回し、スプリングプリロード“E”を調整します。

 **ロックナットの外径：62mm**

- アジャストリングナット“C”を締め込むとプリロードが増し、緩めるとプリロードが減ります。
- プリロードの調整が済んだら、ロックリングナット“D”を締めます。

 **損傷を避けるため、リミットを超えて（両方向に）無理に回転させないでください。**



運転のための操作と機能

ヘッドライトおよびウインカー

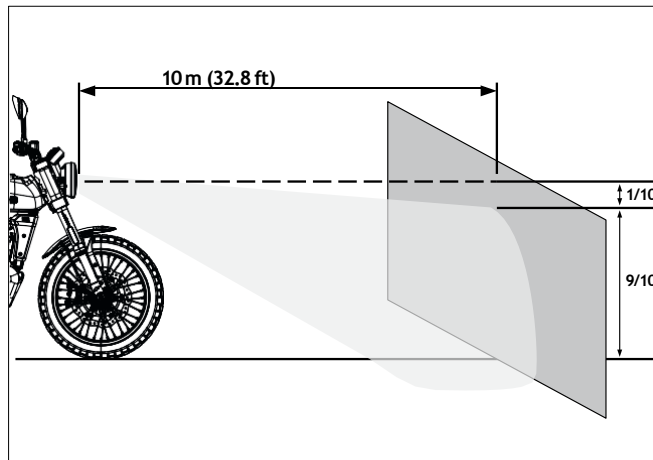
ヘッドライト、テールライト、ライセンスプレートライト、ウインカーなどを点検、分解、交換の際は Fantic Motor 正規販売店へご相談ください。

ヘッドライトアライメント

- ① 以下の方法はイタリア国内法の定めによるものです。お使いの地域の法規に準拠した調整を行ってください。
- ① ヘッドライトの調整は2人で行うことが望ましいです。
- ① 調整に際して十分な知識がない場合は、Fantic Motor 正規販売店へご相談ください。

ヘッドライトの照射範囲が正しいことを確認するには以下の手順で行ってください：


- タイヤの空気圧を規定値に調整し、平な路面で1名乗車した状態で車体を水平にします。車両を壁に向かって正立させます。
- ヘッドライトの中心が示すポイントを壁面にマークします。
- 車両を壁から10 m離します。
- 壁面を照らす明かりの中心が、先にマークした位置より10cm低い位置を示すようにヘッドライトを調整します。

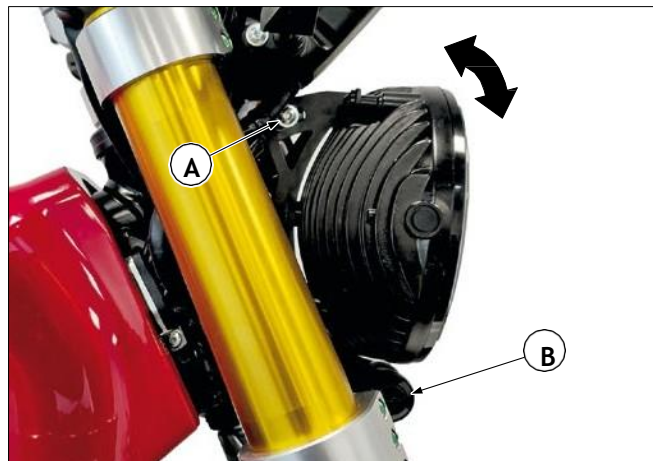


運転のための操作と機能

ヘッドライトの照射位置が正しくない場合は次の手順に従ってください：

- 車両右側のスクルー“A”を緩めます。
- 光線が適切な位置になるように、軸“B”を回転させて、手動で調整します。
- スクルー“A”を締めます。

 フロントヘッドライトスクルー： 2 N・m (0.20 kgf・m)



クラッチレバーの調整

クラッチレバーとハンドルグリップの距離を調整するアジャストナット“A”が装備されています。

レバーを外側へ押し、アジャストナット“A”を時計回りまたは反時計回りに回してレバーとグリップの距離を調整し、ライダーの好みに合わせて調整することができます。



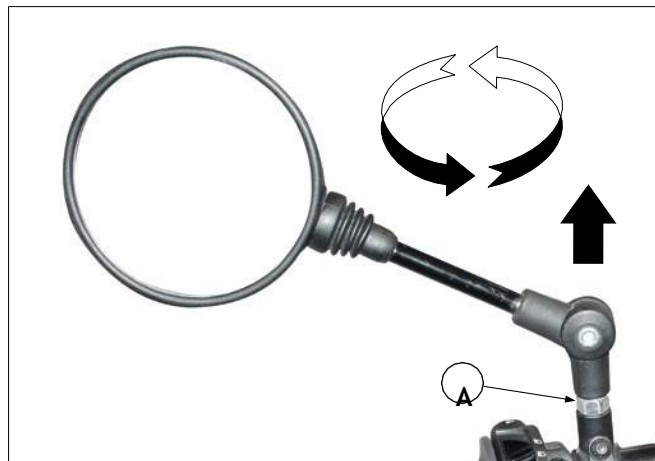
運転のための操作と機能

バックミラー

バックミラーの取外し

水平な安定した場所で、車両をサイドスタンドで支えます。ロックナット“A”を緩め、左側のミラーは反時計方向、右側のミラーは時計方向に回転させて取外します。

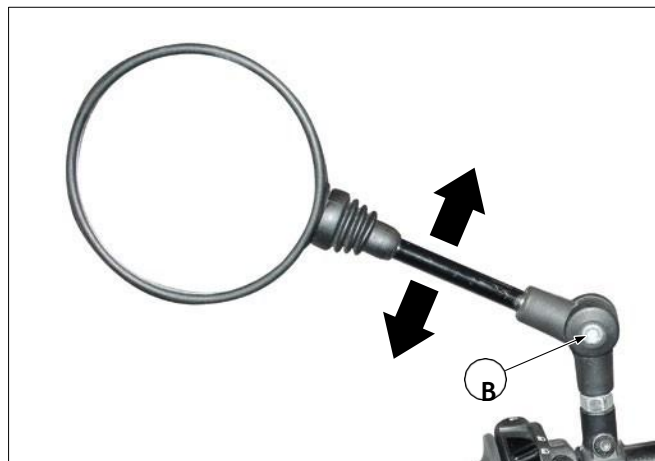
- ① 組み立て時、ナットの締め付け前にミラーのサポートロッドがハンドルバーと合っていることを確認します。



バックミラーの調整

- ① 以下に記載されている説明は、両方のバックミラーに適用されます。

バックミラーを調整するには、走行位置で乗車し、必要に応じてミラーを回します。ミラーサポートロッドの傾きを調整することもできます。その際は、ボルト“B”を緩めて、サポートロッドを斜めに動かします。調整したら、ボルト“B”を締め付けます。



ダッシュボード

デジタル・ダッシュボード



1. 水温
2. ギアポジションインジケータ
3. タコメータ
4. ライディングモード
5. コーナリングABSインジケータ
6. サイドスタンドインジケータ
7. スピードメータ
8. 燃料残量
9. Bluetooth® マネージメントアイコン

10. 右ウインカー/ハザード
11. 水温警告灯
12. ニュートラルインジケータ
13. トラクションコントロールインジケータ
14. ABSインジケータ

15. インフォメーションウィンドウ
16. エンジン警告灯(MIL)
17. 燃料警告灯
18. ハイビームインジケータ
19. 左ウインカー/ハザード
20. 通話アイコン

ダッシュボード

コーナリング時のABSインジケータ（コーナリングABS）

“ALL TERRAIN”ライディングモードが選択中は、コーナリングABSシステムが無効となり、インジケータが点灯します。ライディングモードが“STREET”になると、システムが自動的に再起動し、インジケータが消灯します。



サイドスタンドインジケータ

サイドスタンドインジケータは、サイドスタンドが下がっている時に点灯します。この時、ギアが入っていると、損傷や事故を防ぐためにエンジンは自動で停止します。ニュートラルギアの場合、サイドスタンドが下がっていてもエンジンは停止しません。

- ① エンジンを始動して、走行する前にサイドスタンドを格納してください。



水温警告灯

冷却水が以下の温度に達すると警告灯が点灯します：

115 °C

水温警告灯が表示した場合直ちに停車し、エンジンが冷えるのを待ってから冷却水の量を確認してから運転を再開してください。問題が解決しない場合はFantic Motor 正規販売店へご相談ください。



ダッシュボード

エンジン警告灯(MIL)

システムがエンジン又は電子部品の故障を検知すると、エンジン警告灯(MIL)が点灯します。この表示灯が点灯した場合は速やかにFantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

⚠ 警告灯が点灯したまま走行を続けることは、エンジンにダメージを与えたり、環境への影響を及ぼす恐れがあります。



燃料残量定価警告灯

燃料タンク内の燃料が「燃料不足」の規定値を下回ると、警告灯が表示されます。

燃料警告灯が点灯した場合、できるだけ早く給油してください。



ハイビームインジケータ

ハイビームインジケータは、ヘッドライトがハイビーム点灯時に表示されます。この表示灯でライダーに長距離を照らすべき状況を示し、また交通が集中していたり、対向車がある場合にはハイビームを使用しないように促します。

① 他の運転者を幻惑しないために必要のない時にはハイビームを用いないことが重要です。



ダッシュボード

アンチロックブレーキシステム(ABS)インジケータ

アンチロックブレーキシステム (ABS)インジケータは、車両のABSシステムの動作状態を表示します。

キーを(ON)の位置に回し、ライディングモードが“STREET”の場合、ABSインジケータが点灯します。車両速度が5km/hを越えるまで点滅し、その後消灯します。



⚠ ABSシステムの故障時、ABSインジケータが点灯します。

車両は従来のブレーキシステムの特徴を保持し続けます。

スピードを控えめにし、Fantic Motor 正規販売店にご相談ください。

“ALL TERRAIN”ライディングモードが選択中はこの限りではありません。

トラクションコントロール(TC)インジケータ

トラクションコントロールシステムが無効になると、トラクションコントロールインジケータが点灯します。

この場合、トラクションコントロールシステムは作動しません。

① 安定性と安全性を確保するにはトラクションコントロールをアクティブにしておくことをお勧めします



ダッシュボード

ニュートラル (N)インジケータ

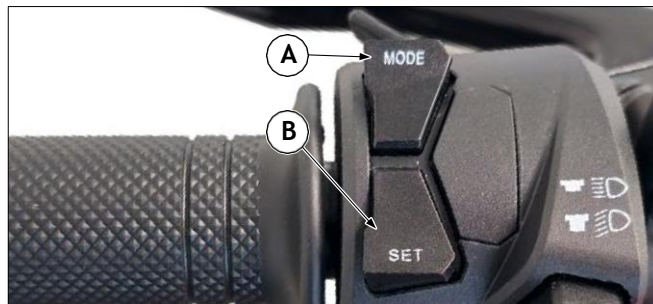
ニュートラルインジケータは、ギアがニュートラル位置にあることを示します。点灯している場合、車両がどのギアにも入っていないことを示し、エンジンを安全に始動できます。



イグニッションスイッチを(ON)の位置にすると、全てのモードとインジケータが短時間表示されます。



ハンドルバー左側には、各種設定を選択する(MODE)ボタン「A」と、選択内容を確定する(SET)ボタン「B」があります。



ダッシュボード

インストルメントパネル

イグニッションスイッチを(ON)の位置にすると、インフォメーションウィンドウに基本情報が表示されます。

MODEボタン「A」を短く押すとメニュー内を移動できます。

① SETボタン「B」を長押しすると、“Trip A” “Trip B” がリセットされます。



ライディングモードの選択

この車両では、2つのライディングモードを選択できます：

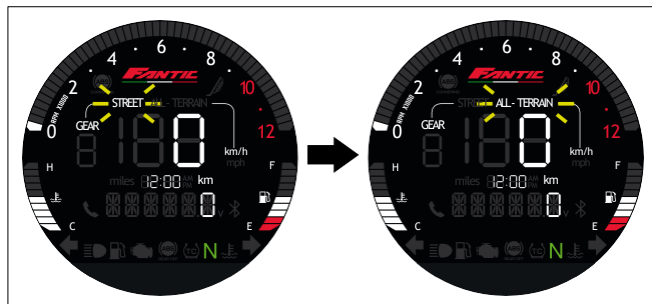
- "STREET" (標準)
- "ALL-TERRAIN"

① ライディングモードは、ABS/コーナリングABS/トラクションコントロールを無効にする機能に影響します。

車両が停止している時、または速度が5km/h未満の時にMODE「A」ボタンとSET「B」ボタンを同時に押すと現在のライディングモードの表示が点滅を始めます。

この状態でMODEボタン「A」を短く押すことでライディングモードを変更できます。確定するにはSETボタン「B」を短く押します。5秒以内に操作が行われない場合、ライディングモードは最後に選択したモードへ自動的に設定されます。

① イグニッションスイッチをOFFにし、再度ONにすると、ライディングモードは標準の“STREET”が自動的に復元されます。



ダッシュボード

ライディングモード	ABS	コーナリングABS	トラクションコントロール
STREET	アクティブ	アクティブ	アクティブ
ALL-TERRAIN	前輪はアクティブ 後輪はリクエストに応じて 非アクティブ	非アクティブ	非アクティブ

ABS/コーナリングABS/トラクションコントロールを無効化するロジック

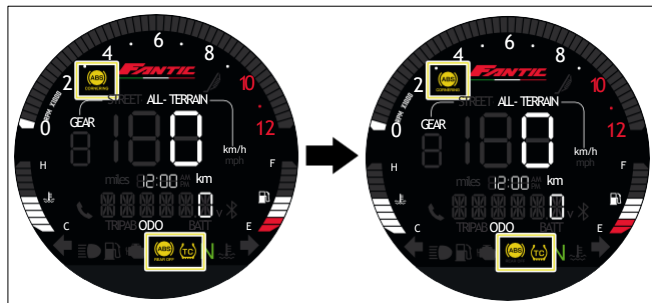
ABS/コーナリングABS/トラクションコントロールは、次の状況でのみ無効化することができます：

- 車両は停止状態
- ライディングモードは“ALL-TERRAIN”を選択



ABSボタン「C」を3秒以上長押しすると、ABSシステムは前輪にのみ有効なモードから、システム全体が完全に非アクティブになるモードに変わります。その逆も同様です。

- ① ABSが前輪のみ作動している場合、ABSインジケータの下に“REAR OFF”と表示されます。
- ② “ALL-TERRAIN”モードでは、コーナリングABSとトラクションコントロールは常に無効となります。

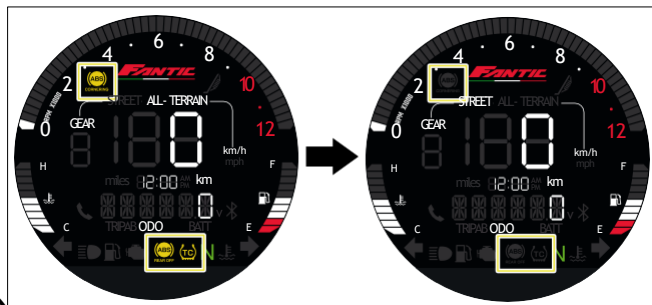


ダッシュボード

MODEボタン「A」と、SETボタン「B」を同時に押し続けるとライディングモードは"ALL-TERRAIN"から標準の "STREET"モードに変わり、ABS/コーナリングABSおよびトラクションコントロール機能が再びアクティブとなります。

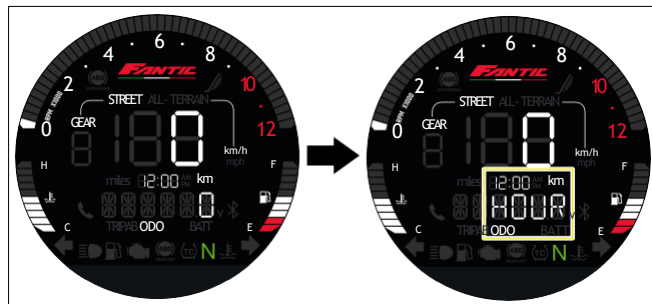
① "ALL-TERRAIN"から"STREET"ライディングモードへの切り替えは、ABSがフロントのみ有効な場合でも、ABSが無効化されている場合のどちらでも可能です。

② イグニッションキーを"OFF"から"ON"にするサイクル毎に、ABSは"ON"の状態に戻ります。



設定メニューへの移行

車両が停止している時、または速度が5km/h未満で、メインパネルに「ODO」が表示されている場合にのみ、SETボタン「B」を長押しすることで設定メニューへの移行が可能です。



ユーザーはSETボタン「B」で操作を確定することができます。
MODEボタン「A」で設定を変更し、設定メニューを選択することができます。

以下の条件でメイン画面に戻ることができます：

- SETボタン「B」を長押し
- 車両の速度が5km/hを越えた場合
- 10秒以上操作が行われない場合

ダッシュボード

時計設定

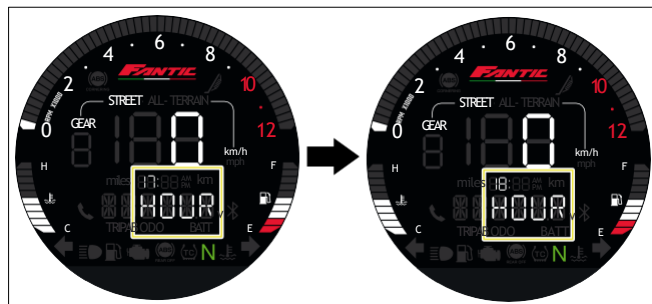
メニュー画面で下記を設定することができます：

- 時刻（時／分）
- 時刻フォーマット（12／24H）

MODEボタン「A」を押し続けると、ボタンを放すまで自動的に時（HOUR）を調整することができます。

① **MODEボタン「A」を短く押すことで時（HOUR）調整することもできます。**

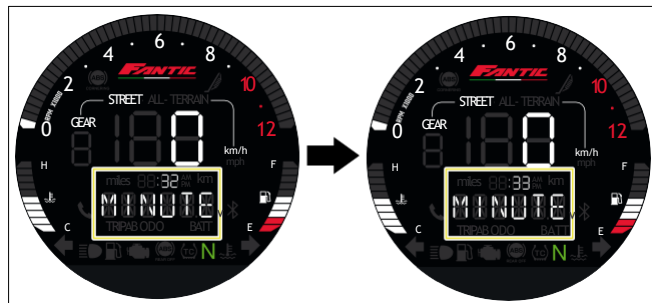
SETボタン「B」短く押すと操作が確定します。



MODEボタン「A」を押し続けると、ボタンを放すまで自動的に分（MINUTE）を調整することができます。

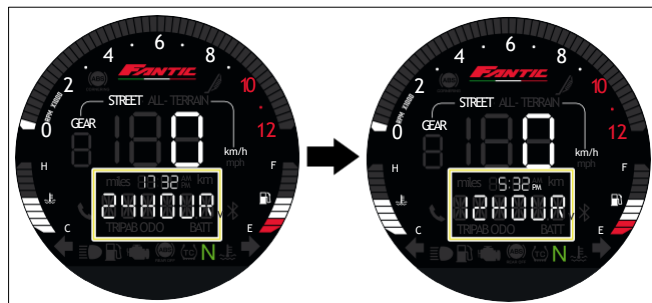
① **MODEボタン「A」を短く押すことで分（MINUTE）の調整をすることもできます。**

SETボタン「B」短く押すと操作が確定します。



MODEボタン「A」を短く押すと、時刻フォーマット（12／24H）を変更できます。

SETボタン「B」短く押すと操作が確定します。



ダッシュボード

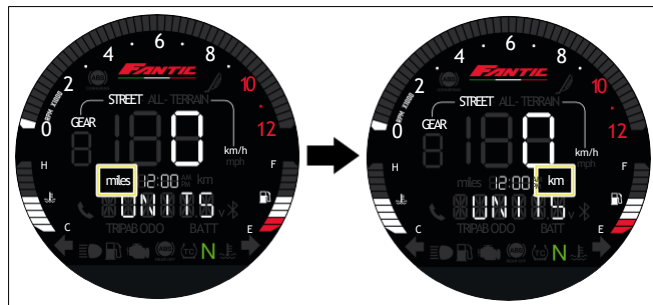
単位の設定

このメニューでは、以下の設定が可能です：

- 単位(マイル/キロ)

MODEボタン「A」を短く押すごとに、単位(マイル/キロ)が変わります。

SETボタン「B」短く押すと操作が確定します。

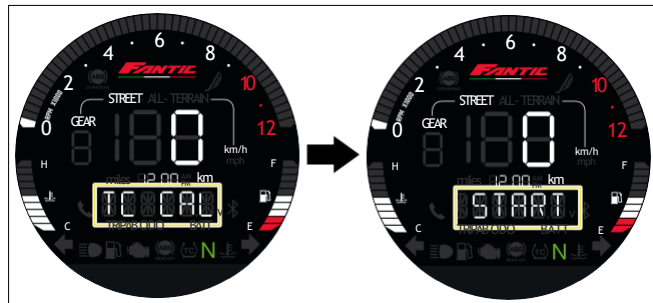


トラクションコントロール(TC)キャリブレーション

このメニュー画面では、トラクションコントロールのキャリブレーションを実行できます。

ダッシュボードに“TC CAL”が表示された後、SETボタン「B」を長押ししてキャリブレーションメニューに移行します。

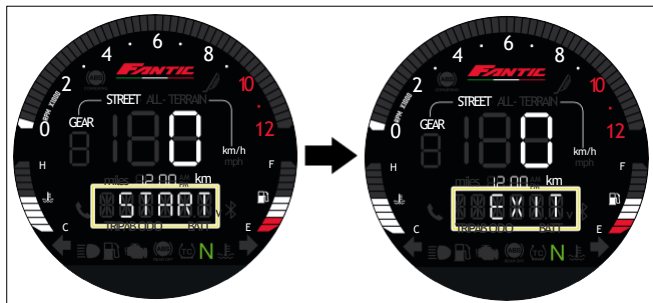
① SETボタン「B」を短く押した場合、Bluetooth®管理のメニューに切り替わります。



ダッシュボードに“START”が表示された後、MODEボタン「A」を短く押すと“START”と“EXIT”を切り替えることができます。

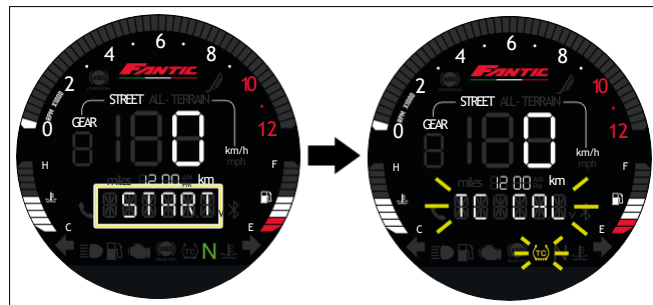
SETボタン「B」短く押し、“START”または“EXIT”を選択します。

① “EXIT”選択するとBluetooth®管理メニューに移行します。



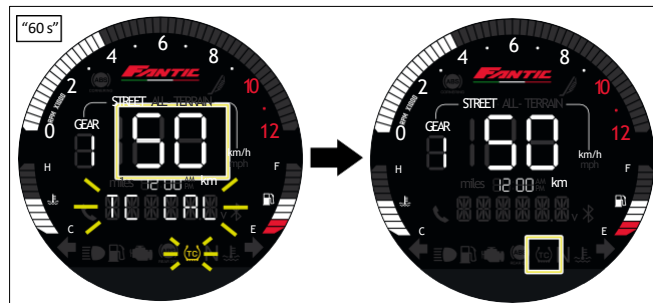
ダッシュボード

"START"を選択すると、キャリブレーションが再開されます。
-キャリブレーション中はインフォメーションウインドウに"TC CAL"が点滅して表示されます。キャリブレーションが完了するまで点滅は続きます。



-その後、60秒以内に直線で50 km/h ± 5 km/hの速度に達し、トランスミッションコントロールのステータス表示が消灯するまで、その速度を維持する必要があります。

① この手順は数回かかる場合があります。



ダッシュボード

エンジンストップワーニング

- ① エンジンを停止するには「エンジンストップワーニング車両電源のON/OFF」項目を参照してください。

車両が停止し、イグニッションキーをが(ON)の位置にある時、エンジン停止スイッチ「D」を操作すると、メインインフォメーションウインドウに“RUNOFF”と表示され、“ODO”と“Km”アイコンが消灯します。



- ① 車両が“RUNOFF”にある時、ダッシュボードの設定を変更することができます。

車両が停止し、イグニッションキーをが(ON)の位置にある時、エンジン停止スイッチ「E」を操作すると、メインインフォメーションウインドウの“RUNOFF”が消灯し、“ODO”と“Km”アイコンが点灯します。



ダッシュボード

システムエラー

⚠ このようなエラーが発生した場合、速やかにFantic Motor 正規販売店にご相談ください。

LIMITED

クラッチセンサーもしくはストップセンサーが故障した場合：

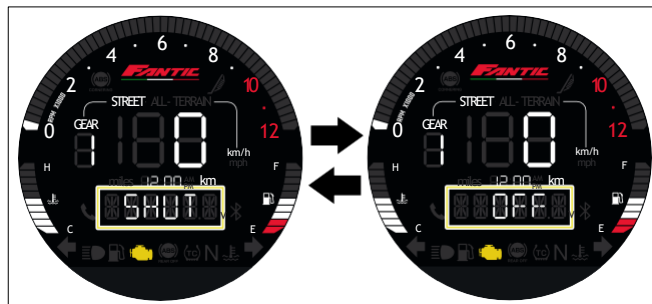
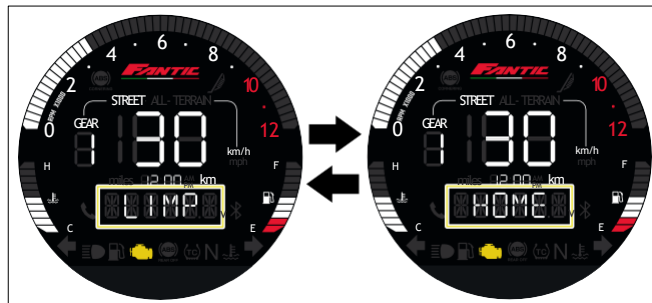
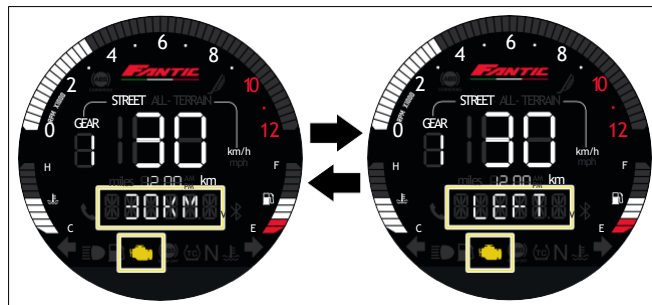
- エンジン警告灯(MIL)点灯
- インフォメーションウィンドウに表示される通り、一定の走行距離に達し、エンジンの出力は自動的に制限されます。
- 表示された走行距離に達すると、車両は“LIMP HOME”モードに移行します。

LIMP HOME

“LIMITED”の故障状態が続いた場合、もしくはエンジンマネージメントに異常を検知した場合、エンジン回転出力が3000～4000rpmに制限されます。

SHUTOFF





この異常が発生すると、全ての電子部品の電源が停止、エンジンも停止します。



通常のメンテナンス作業

メンテナンスの重要性

大切なオートバイを守り安全に走行し、期待されるパフォーマンスを発揮させ、また故障から守り環境を保護していくためにも、正しく車両をメンテナンスすることは重要です。ここで示す点検項目を乗車前に行うことはユーザーの義務です。車両に不要な異常を発生させないためにも運行前の点検は必ず実施してください。



-  **故障や異常を発見した場合は、直ちにFantic Motor 正規販売店へご連絡ください。**
-  **不適切なメンテナンス、修理が完全ではない場合、重篤な怪我や死亡事故につながりかねないアクシデントを誘発する恐れがあります。本マニュアルに提示されている定期点検を行い、また、運行前点検を行うことは、トラブルを避け、ライダーと同乗者の安全を守ることに繋がります。**
-  **ご自身に十分な整備知識がない場合や、必要な工具をお持ちでない場合は、作業はFantic Motor 正規販売店へご依頼ください。**
-  **技術に関するアドバイスや整備が必要な場合、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。**

定期的なメンテナンスにあたっての安全上の規定

-  **① 車両の点検や作業を行う前に必ず定期点検の指示をよく理解してください。**

メンテナンス作業には、以下のガイドラインを遵守してください：

- エンジンを停止し、イグニッションキーが抜かれていることを確認します。
- 安定した水平な場所に駐車し、サイドスタンド、または安全なメンテナンススタンドを使用して車両を支えてください。
- 火傷等を防止するためにも、エンジンやエキゾーストシステム、ブレーキなど高温になる部位は作業前に十分冷ましてください。

-  **こうした注意事項を守らないと作業者は深刻な負傷を負ったり車両にダメージを与える恐れがあります。**
-  **Fantic Motorが社販売する純正部品を使用してください。そのためにも、Fantic Motor 正規販売店と密に連絡してください。純正部品は信頼性と安全性に長けています。社外の部品を用いることは車両にダメージを与えたり、運転者や同乗者の安全を脅かすことにつながりかねません。**

通常のメンテナンス作業

ユーザーが行う点検作業

- ① 提示されている点検の間隔（距離）はあくまでも目安です。運行前に必ず目視点検を行い、異常がないか確かめてください。

	Operation	運転前毎回	500km 走行毎	1500km 走行毎	長期保管前	長期保管後
灯火類、ウインカー、ホーンなど	-動作確認	✓				
クラッチレバー	-動作、遊びの確認	✓				
ブレーキシステム	-ブレーキフルードレベルの確認		✓			
	-ブレーキパッド残量の確認			✓		
	-ブレーキシステム全体の確認	✓				
エンジンオイル	-オイルレベルの確認		✓			
クーラント（冷却水）	-クーラントレベルの確認		✓			
ドライブチェーン	-摩耗状態の確認		✓			
	-伸びや遊りの確認		✓			
	-清掃と潤滑		✓			
車両全体	-洗車		✓		✓	
バッテリー	-バッテリー端子の取外し/取付け				✓	✓
	-バッテリー端子の清掃					✓
タイヤ	-空気圧の点検		✓		✓	✓
	-ダメージ点検、溝の深さの点検			✓		

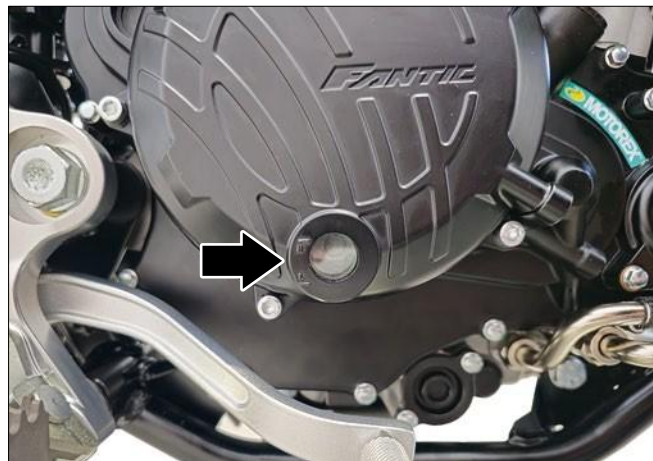
通常のメンテナンス作業

エンジンオイル

- ⚠ エンジンオイルの品質や消費量は、走行条件や運用時間により低下します。エンジンオイルとオイルフィルターの取外しや交換は、Fantic Motor 正規販売店へ依頼いただくことをお勧めします。
- ⚠ エンジンオイルの点検や補充は、エンジンやエキゾーストシステムなど高温の部品にご注意ください。
- ⚠ オイルブランド、グレード異なるオイルを混ぜて使用しないでください。潤滑性能やクラッチの作動に悪影響を与える可能性があります。「推奨オイル一覧」の項目に記載されている推奨オイルを使用してください。

エンジンオイルの点検と補充

- ① この点検のタイミングや走行距離については「ユーザーが行う点検作業」の項目を参照してください。
 - エンジンを始動し、冷却ファンが作動～停止するまでアイドリングさせます。
 - エンジンを停止し、安定した水平な場所で車両を垂直に保ちます。
 - 2～3分待ちます。
 - 点検窓からオイルレベルを確認します。
- ① “L”(minimum)と、“H”(maximum) の中間が正しいオイルレベルです。



通常のメンテナンス作業

⚠ オイルレベルは“H” (maximum)を越えてはならず、“L” (minimum)を下回ってはなりません。エンジンに深刻なダメージを与える恐れがありますので十分注意してください。

オイルレベルがL (minimum)マークを下回っていた場合は、推奨のエンジンオイルを補充してください。H (maximum)マークを越えている場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

⚠ オイルを補充する際はこぼさないよう十分に注意してください。漏斗などを使用する場合、用具が清潔であることを確認し適切に使用してください。

キャップ確実に締め付けてください。



通常のメンテナンス作業

タイヤ

タイヤサイズ、空気圧については「テクニカルデータ」の項目を参照してください。

① この点検のタイミングや走行距離については「ユーザーが行う点検作業」の項目を参照してください。

タイヤ空気圧の確認

タイヤ空気圧は常温（室温）で行ってください。タイヤの温度が上昇していると、正確な空気圧を測定することができません。走行を始めてから2km以内に点検するか、走行後は3時間程度時間を置いてから点検してください。

① タイヤ空気圧の測定には、正しく調整されたエアゲージを使用してください。

⚠ 突然の空気圧低下を防ぐため、プレッシャーバルブには常に保護キャップが取り付けられ、しっかりと締まっている事を確認してください。

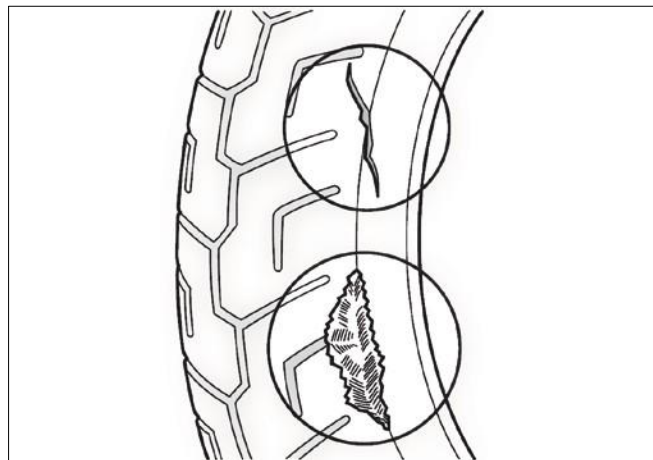
⚠ 空気圧が不適切なタイヤで走行することは、重大なアクシデントや事故に繋がる恐れがあります。

損傷とトレッドの深さの確認

以下の項目を確認します：

- 亀裂がないか
- ひび割れ、裂け目がないか
- タイヤの内部が見えるような損傷がないか
- 釘や異物がタイヤ表面又は側面に刺さっていないか
- タイヤ側面に突起が生じたり、膨らみがないか

いずれかの欠陥が1つでも見つかった場合、直ちにタイヤを交換してください。

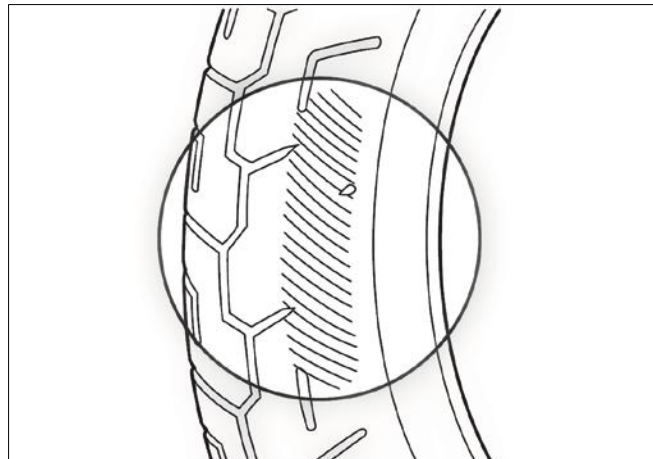


通常のメンテナンス作業

タイヤの表面に異常な摩耗や、その兆候がないか確認してください。

異常が見つかった場合は、直ちにタイヤを交換してください。

⚠ 損傷したタイヤや、過度に摩耗したタイヤで走行することは、重大なアクシデントや事故に繋がる恐れがあります。

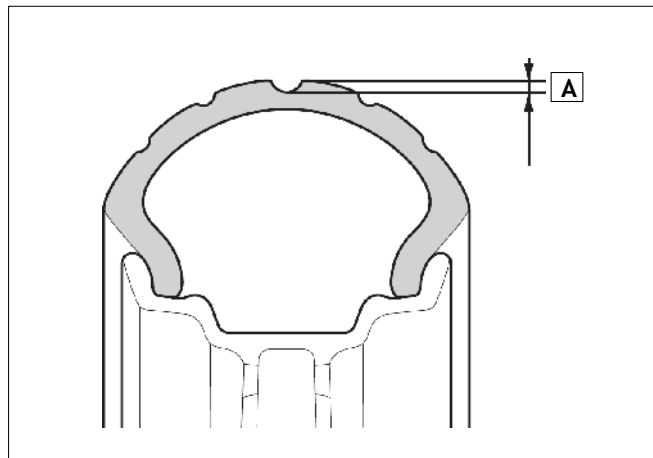


トレッド厚さ「A」を測定します。タイヤ表面の最も摩耗している箇所を測定してください。トレッド溝の深さは最小値、または車両を使用する国の法律で定められた値を下回ってはいけません。





✖ トレッド厚の最小値: 1mm

規定値に満たない場合、直ちにタイヤを交換してください。

⚠ 規定のトレッド厚より浅い溝のタイヤで走行することは、重大なアクシデントや事故に繋がる恐れがあります。



通常のメンテナンス作業

-  交換、修理、メンテナンスは非常に重要です。経験のある作業者が適切なツールを使用して行う必要があります。そのため、特定の作業時は、Fantic Motor 正規販売店か、タイヤ専門店にご依頼ください。
-  推奨タイヤ、同等品、同じ寸法、同じ構造、同じ速度表示および耐荷重のタイヤを使用してください。不適切なタイヤを装着すると、車両の操縦性や安全性が損なわれ、重傷や死亡事故につながる危険があります。必ず、本マニュアルで推奨されているサイズとタイプのタイヤをご使用ください。
-  新しいタイヤの場合、滑りやすいフィルムでコーティングされている場合があります。最初の数キロは慎重に走行してください。不適切な液体でタイヤを潤滑しないでください。古いタイヤは、完全に摩耗していなくても柔軟性が失われている場合があり、所定の能力が保証されませんので交換してください。
-  提供されているタイヤはチューブレスタイプですが、インナーチューブ共にスポークリムに取付けられています。インナーチューブの無いチューブレスタイヤは使用しないでください。

通常のメンテナンス作業

クーラント（冷却水）

① この点検のタイミングや走行距離については「ユーザーが行う点検作業」の項目を参照してください。

⚠ 冷却水のレベルが下限（MIN）を下回っている場合、車両を使用しないでください。

冷却水レベルの確認

⚠ 冷却水のレベル確認は、エンジンが冷えており、エンジンがオフの状態ですべての車両を垂直の状態に行います。

冷却水のレベルが「MAX」と「MIN」の間にあることを確認します。

冷却水の補充

If 冷却水のレベルが“MIN”（下限）の場合次の手順にしたがってください：

- リザーバータンクのキャップを外します。
- 冷却水のレベルが「MAX」と「MIN」の間になるまで冷却水を補充します。

♻ 推奨製品：有機添加剤を加えたエチレングリコールベースの不凍液

⚠ 不凍液が不足している場合蒸留水（ない場合は通常の水）を補充し、できるだけ早くFantic Motor 正規販売店で冷却水の点検と交換を行ってください。



通常メンテナンス作業

- キャップを締めます
- エンジンを始動し、約1分感走行させてから、再度レベルを確認します。

 冷却水を交換するにはFantic Motor 正規販売店にお問合せください。

 冷却水のレベルが徐々に低下したり、リザーバータンクが空の状態の場合、冷却システムに重大なトラブルが発生している可能性があります。直ちにFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

通常のメンテナンス作業

ブレーキシステム

① この点検のタイミングや走行距離については「ユーザーが行う点検作業」の項目を参照してください。

フロントブレーキフルードの液量の点検

フロントブレーキフルードの液量の点検は、車両を垂直に保持し、ブレーキフルードリザーバー内のフルードがキャップと並行になるようにハンドルバーを切ります。点検窓から液面が「MIN」（下限）を越えていることを確認します。

⚠ 液面が「MIN」に達していない場合は Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

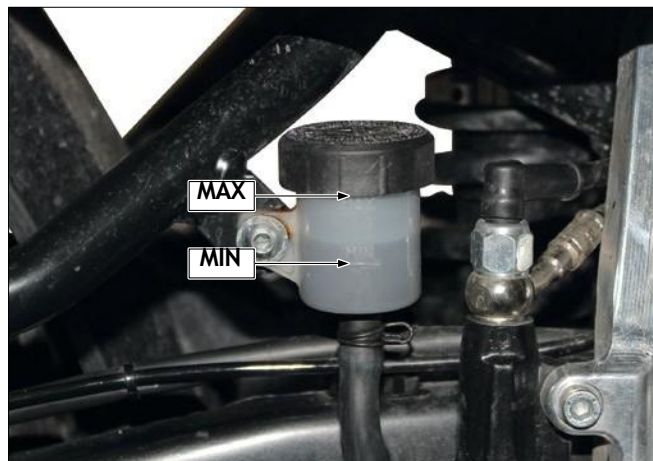
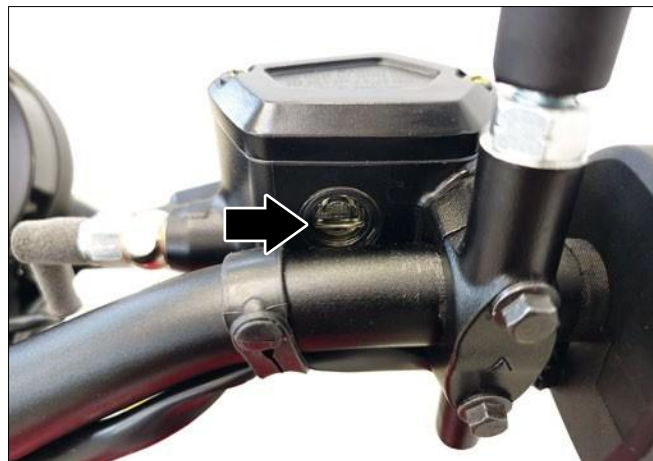
リアブレーキフルードの液量の点検

リアブレーキフルードの液量の点検は、車両を垂直に保持し、ブレーキフルードリザーバー内の液面がキャップと並行になるようにします。液面が「MAX」と「MIN」の間にあることを確認します。

⚠ 液面が「MIN」に達していない場合は Fantic Motor 正規販売店に連絡し、適切な処置を受けてください。

ブレーキフルードの補充

⚠ ブレーキフルードの補充は Fantic Motor 正規販売店に行ってください。



通常のメンテナンス作業

ブレーキパッドの摩耗の点検

⚠ 車両のブレーキ能力が低下していると感じた場合、ブレーキパッドの点検を行ってください。

① ブレーキパッドの消耗度合いは、使用方法や路面コンディションにより異なります。

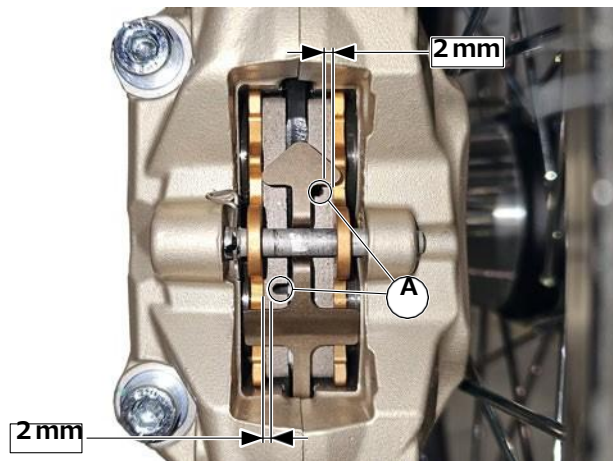
⚠ ブレーキパッドの限界値以上の摩耗は、パッドの金属シュー（摩耗材を貼りつけている金属製のパッドベース）が直接ディスクローターと接触してしまう恐れがあり、ブレーキキャリパーから金属音と火花が飛び散り、ブレーキ性能が低下し、ブレーキディスクにも損傷を与えることになります。

フロントブレーキパッド

ブレーキキャリパー背面の開口部からパッドの摩耗を確認します：

点検溝（限界摩耗溝）「A」が常に見えることを確認します。

点検溝が見えない場合や、パッドの厚みが2mm未満の場合、ブレーキパッドを交換してください。



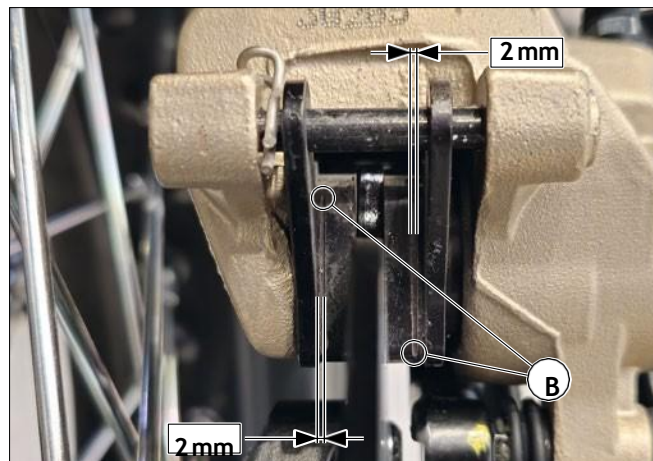
通常のメンテナンス作業

リアブレーキパッド

ブレーキキャリアの開口部からパッドの摩耗を確認します：

点検溝（限界摩耗溝）「B」が常に見えることを確認します。

点検溝が見えない場合や、パッドの厚みが2mm未満の場合、ブレーキパッドを交換してください。



ブレーキシステムの点検

ブレーキ動作の点検：

- ブレーキレバーとブレーキペダルを操作していない時に、ブレーキが作動しないことを確認します。

遊びに異常がないか点検：

- ブレーキレバーとペダルの移動量（遊び）が適切であるか確認します。

ブレーキタッチの点検：

- ブレーキレバーとペダルを操作し、適切であるか確認します。

⚠ これらの点検で異常を感じた場合、速やかにFantic Motor 正規販売店にて点検を受けてください。

通常のメンテナンス作業

ドライブチェーン

① この点検のタイミングや走行距離については「ユーザーが行う点検作業」の項目を参照してください。

チェーンの摩耗、たるみ、スプロケットの摩耗点検

① これらの点検はFantic Motor 正規販売店での実施を推奨します。

以下の点検を実施してください：

ホイールの緩みがなく右図“1”のアクスルナットが適切に固定されていることを確認します。

ドライブチェーン（右図“2”）の消耗状況を点検。ローラーの消耗がないこと、またリンク部分に以下の異常がないことを確認します：

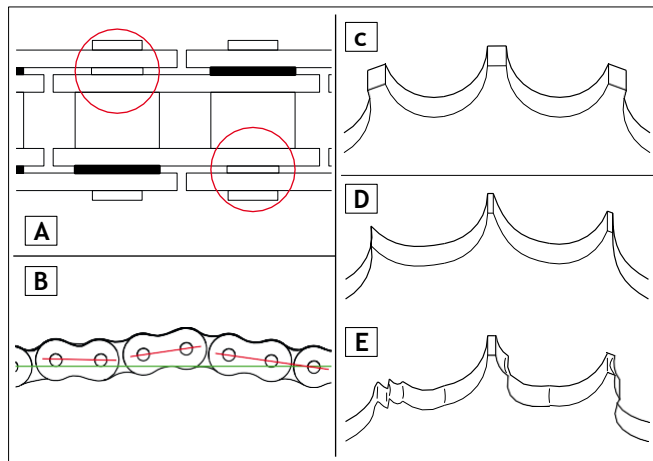
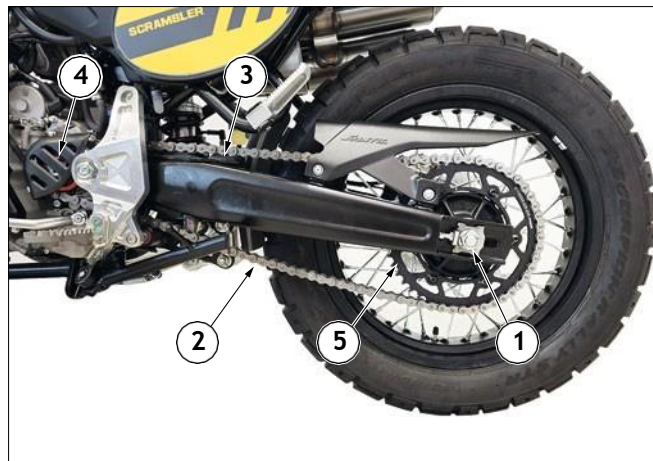
- 乾燥（潤滑不足）
- 錆
- 損傷
- ゆがみ（右図“B”参照）

また、シールリングが欠けていないかも確認してください。（右図“A”参照）

チェーンスライダー（右図“3”）の摩耗状況を点検します。

スプロケットとチェーンリング（右図“4”）（右図“5”）の摩耗状況の点検：

- 歯の状態が良好であること（右図“C”）
- 歯が過度に摩耗した状態で交換が必要（右図“D”）
- 歯が損傷した状態で交換が必要（右図“E”）



通常のメンテナンス作業

⚠ これら部品の1つあるいは全部が損傷しているか、過度に摩耗している場合、Fantic Motor 正規販売店に連絡し、チェーンアッセンブリ（チェーン、スプロケット前後）の交換を依頼してください。

⚠ 不適切なメンテナンスは、早期摩耗や損傷の原因となる可能性があります。

清掃と潤滑

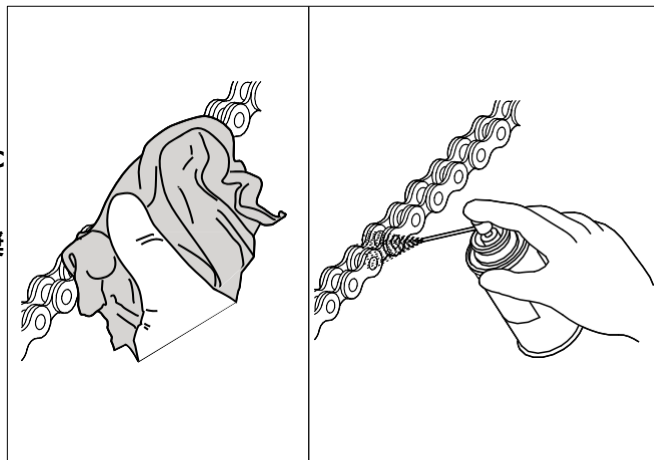
⚠ チェーンは常によく洗浄され、適切に潤滑されていること。泥や砂の多いオフロード走行後は特に注意が必要です。

⚠ 高圧洗浄機、スチーム、高圧エアダスター、および可燃性の高い溶剤でチェーンを洗浄しないでください。

チェーンの清掃には清潔な乾いた布と中性洗剤を使用してください。
必要に応じて柔らかいブラシを使用してください。
洗浄、乾燥させた後、推奨潤滑剤を塗布してください。

① 手に正しいメンテナンス用具や油脂が揃わない場合、またはチェーンメンテナンスに自信がない場合は、Fantic Motor 正規販売店に作業を依頼してください。

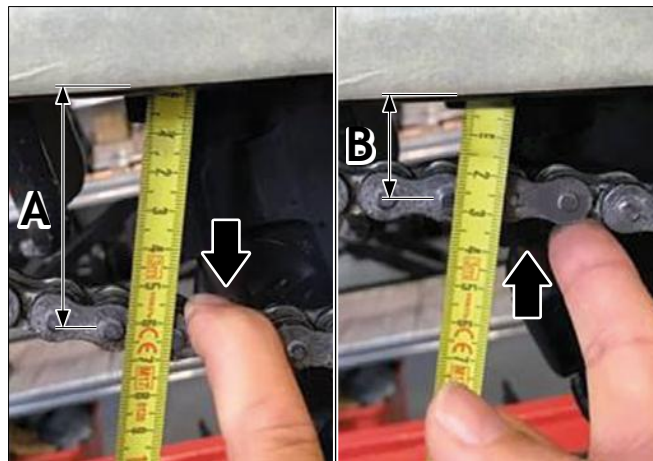
① メンテナンスに必要な洗浄剤や油脂類については「推奨製品表」を参照してください。



通常のメンテナンス作業

クリアランス点検

- ⚠ チェーンが緩みすぎるとスプロケットから外れ、事故や車両の重大な損傷を引き起こす可能性があります。
- ⚠ チェーンの調整、交換については、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。
- ⚠ 特定の位置でチェーンのクリアランスが大きい場合、ブッシュが潰れたり固着している箇所があることを意味します。この場合、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。
- ⚠ チェーンの固着を防ぐため、正しくチェーンを潤滑してください。



以下の手順でチェーンクリアランスを確認します：

- エンジンを停止し、ギアをニュートラルにします
- メンテナンススタンドを使用して車両を安定させます
- リアホイールを回しながら指でチェーンを上方向に持ち上げ遊びが最小となる場所を探します。
- 荷物が積まれていない状態の車両をサイドスタンドで自立させます。
- チェーンの遊びが最小となるポイント（最大張力のポイント）でチェーンを最初は下側に、次に上側に押し、スイングアームとチェーンの距離を測定します。
- 最高値“A”と、最低値“B”の差が35mm～38mmであることを確認します。
- 車両を前進させてチェーンの垂直振動を別の箇所でも確認します。クリアランスは、ホールを回転させた全ての箇所で一定である必要があります。

通常のメンテナンス作業

クラッチレバーの調整

⚠ 調整に際して十分な知識がない場合は、車両にダメージを与えたり、運転の安全性の低下を避けるため、Fantic Motor 正規販売店へご相談ください。

⚠ エンジンの故障や損傷を避けるために、クラッチレバーの遊びはFantic Motorが指定した値に準拠する必要があります。

⚠ クラッチレバーの遊びが不足すると、エンジンに損傷を与える可能性があります。

レバー側の調整

クラッチレバーの遊びは、エンジンが突然異常に停止したり、ギアが入っている時、クラッチレバーを引いているにも関わらず車両が動き出そうとしたり、クラッチが滑っていてエンジンの回転数に対して加速が遅れる時に調整してください。

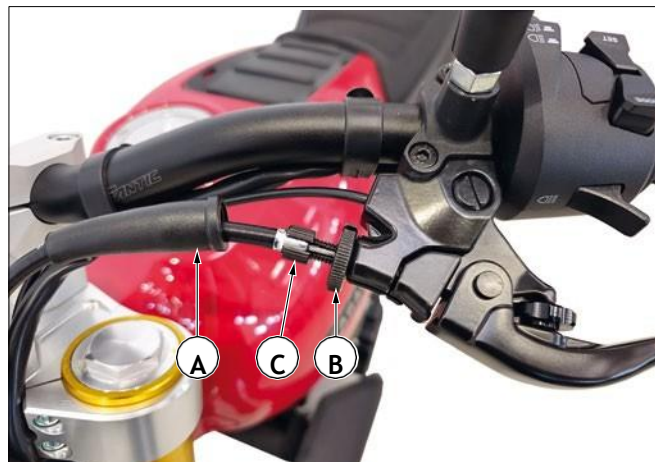
⚠ 以下の調整はエンジンが冷えている時に行ってください。

調整方法：

- プロテクションカバー“A”を外します。
- リングナット“B”を緩めます。
- 調整中はハンドルバーを真っすぐに保ちます。
- アジャスター“C”を回して遊び“D”を調整します。

 **クラッチレバーの遊び (“D”) : 2mm**

- アジャスター“C”を固定し、リングナット“B”を締めます。
- プロテクションカバー“A”を元に戻します。



通常のメンテナンス作業

エンジン側の調整

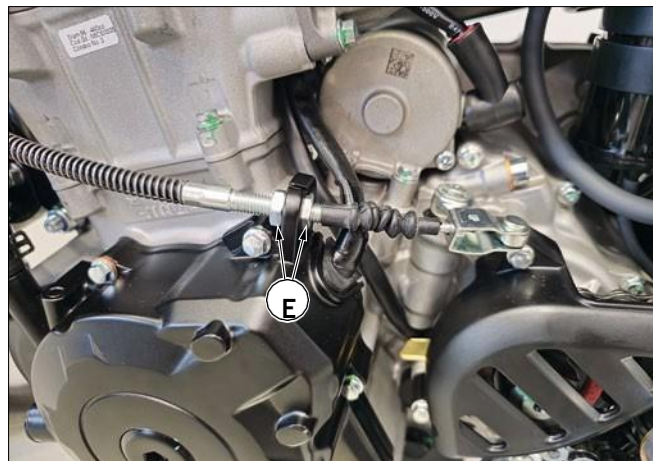
前述のレバー側での調整がFantic Motorの指定する値にならない場合、エンジン側の調整を行う必要があります。

⚠ 以下の調整はエンジンが冷えている時に行ってください。

調整方法：

- クラッチコントロールレバーアジャスター“E”を操作します。
- クラッチレバーの遊び“D”を適正值になるよう調整します。

✂ クラッチレバーの遊び (“D”) : 2mm



⚠ クラッチケーブルの全長に渡って安全性を確認してください。ケーブルに亀裂、切れ目、潰れ、摩耗があつてはいけません。これらの欠陥が1つでもあればFantic Motor 正規販売店にてクラッチケーブルを交換してください。

⚠ 調整しても適切な遊びが確保できない場合、エンジンとクラッチに重大な損傷が生じる恐れがあります。速やかにFantic Motor 正規販売店にて点検、修理を受けてください。


通常のメンテナンス作業

トラブルシューティング

以下の表では、車両の正常な動作を妨げる障害の種類、ダッシュボードに表示される障害の情報を確認するための手順を示しています。

 この項の情報が全ての異常やエラーを網羅している訳ではありません。

 以下の項に相当する異常が確認された場合や、その異常が以下の手順でも解決されない場合は、Fantic Motor 正規販売店に早急に連絡し、点検を受けてください。

 ヒューズやリレーの交換が必要な場合は、解決策が決定的ではなく、より広範囲な問題に関連している可能性があるため、Fantic Motor 正規販売店に連絡してください。

症状	考えらえる原因	実施する手順
エンジンが始動しない	“RUN/OFF” スイッチが“OFF” の位置にある	スイッチを正しい位置にする
	サイドスタンドが降りていて、ギアがニュートラル以外のポジションにある	サイドスタンドを格納し、ギアをニュートラル（N）にする
	フロントブレーキ/リアブレーキが正しく作動していない	車両を安全に始動するための正しい手順を確認する
エンジンは始動しないが、始動しそうな気配がある。（点火はしている）	バッテリーの充電不足、もしくは放電状態で交換が必要	補充電、もしくはバッテリーを交換し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する
エンジンが始動しない 始動する気配もない	サイドスタンドは格納されているが、関連するセンサーが正しく機能していない可能性がある	車両の使用を中断。正しく安全に駐車し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する
	スターターモーターの故障もしくは作動不良	車両の使用を中断。正しく安全に駐車し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する
エンジンがスムーズに回転しない マフラーから目に見える煙がでている エンジンから刺激臭が発生している	エンジンオイル不足もしくは減失	エンジンオイルレベルの確認。車両の使用を中断。正しく安全に駐車し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する
エンジンチェックランプの点灯	エンジンまたは排出ガス制御システムの故障	車両の使用を中断。正しく安全に駐車し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する

通常のメンテナンス作業

症状	考えらえる原因	実施する手順
ブレーキはスムーズに操作できるが、制動距離が増加	ブレーキパッドやディスクの摩耗	ブレーキパッドやディスクの摩耗状態を点検。車両の使用を中断。正しく安全に駐車し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する
制動距離が大幅に増加 ブレーキ入力も操作に対して均一に作動しない	ブレーキフルード不足か、全く入っていない状態 あるいは交換が必要な状態	ブレーキフルードの点検。車両の使用を中断。正しく安全に駐車し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する
制動距離の増加 ブレーキもスムーズに作動せず、ABS警告灯が点灯	ABSコントロールユニットの故障	車両の使用を中断。正しく安全に駐車し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する
ABS警告灯の点灯	ライディングモードが“ALL-TERRAIN”選択されている	ライディングモード“STREET”を選択
	ヒューズ切れ	ヒューズの確認／交換
	ABSコントロールユニットの故障	車両の使用を中断。正しく安全に駐車し、Fantic Motor 正規販売店に連絡する
エンジン・オーバーヒート	冷却水不足か、全く入っていない状態	クーラントレベルの確認
エンジン温度警告灯の点灯 冷却ファンが作動しない	ヒューズ切れ	ヒューズの確認／交換
ヘッドライトが点灯しない	ヒューズ切れ	ヒューズの確認／交換
方向指示器が作動しない	ヒューズ切れ	ヒューズの確認／交換
ホーンが鳴らない	ヒューズ切れ	ヒューズの確認／交換
ポジションライトが点灯しない	ヒューズ切れ	ヒューズの確認／交換
ブレーキランプが点灯しない	ヒューズ切れ	ヒューズの確認／交換

通常のメンテナンス作業

バッテリー

- ① この点検のタイミングや走行距離については「ユーザーが行う点検作業」の項目を参照してください。

この車両にはメンテナンスフリーバッテリーが搭載されています。そのため、電解液の量の確認や補水の必要はありません。バッテリーターミナルを点検し、汚れや錆などを除去し、清潔に保ってください。

バッテリーの交換

- ⚠ この作業に十分な知識や自信がない場合、Fantic Motor 正規販売店へご依頼ください。

- ⚠ 電解液（希硫酸）の漏れを発見した場合、Fantic Motor 正規販売店へ連絡してください。

- ⚠ バッテリーからは火花や炎を避けてください


車両をサイドスタンドで自立させます
イグニッションスイッチをOFFにし、スイッチからキーを抜きます。
車両左側“A”にキーを差し込み、キーを時計回りに回します。
シート“B”を持ち上げて取外します。




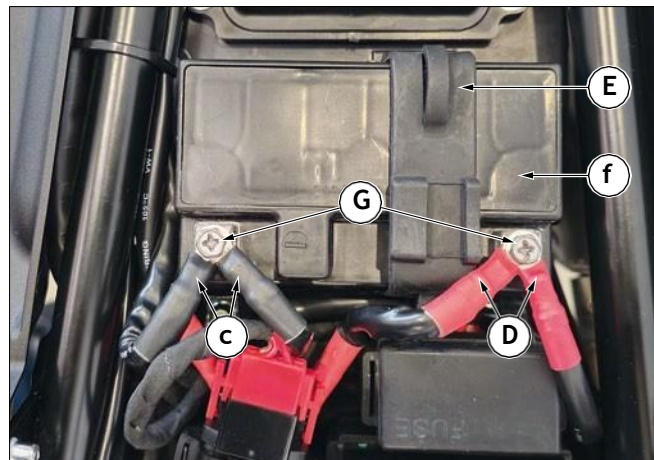
通常のメンテナンス作業

マイナス側の黒端子“C”を外します。
プラス側の赤端子“D”を外します。
バッテリー固定ゴムバンド“E”を外します。
バッテリー“F”を車両から取り外します。

バッテリーターミナルの清掃

 この作業に十分な知識や自信がない場合、Fantic Motor 正規販売店へご依頼ください。


 車両を長期間使用しない場合、バッテリーの劣化を防ぐため、バッテリー端子を外すことをお勧めします。



バッテリー端子“G”が腐食し、異物で覆われている場合、温水で流し清掃してください。腐食がひどい場合、保護メガネを着用し、金属製のヘラまたは、サンドペーパーで端子を清掃して磨いてください。これらの作業は、バッテリーを車両から取り外した状態でお願いします。

バッテリーの取付け

取外しと逆の手順で取付けを行います。
必ずプラス端子を先に接続し、次にマイナス端子を接続します。
シートを取付ける前に、シート下のエリアにイグニッションキーを残さないよう注意してください。
乗車前にシートがきちんと固定されているか確認してください。

 あらかじめ用意されている保護材を外さないでください。バッテリー端子（極性）を間違えないでください。端子をワセリンなどのグリスで保護してください。

 使用済みバッテリーの廃棄は、お住まいの地域の規制、規則に従い適切に処分する必要があります。

通常のメンテナンス作業

ヒューズとリレー

ヒューズは車両の電子回路を保護するために設けられています。ご使用中の車両の電装品が作動しなくなった場合、ヒューズを点検し、切れているようなら交換してください。

⚠ ヒューズが頻繁に切れる場合、電気関係のトラブルが疑われます。そうした場合、早急にFantic Motor 正規販売店へ連絡し、修理を依頼してください。

⚠ 切れたヒューズを修理して使用したり、指定されたアンペア数と異なるヒューズを使用しないこと。その結果、火災や電機システム全体の損傷につながる恐れがあります。

ヒューズの配置

A. メインヒューズ(30 A)

B. ヒューズボックス

1. ABSコントロールユニット(30 A)

2. エンジンコントロールユニット(5 A)

3. ケーリングファン(7.5 A)

4. ライトリレー(5 A)

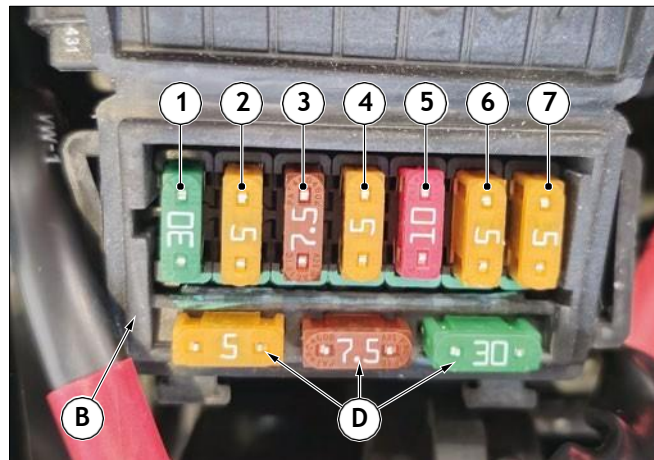
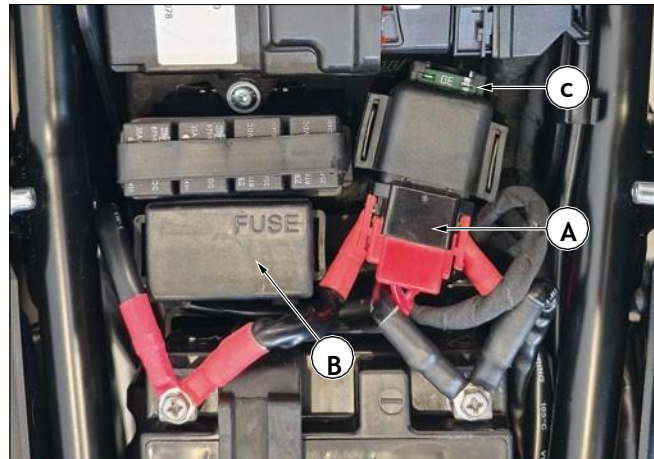
5. 燃料ポンプ、EFIシステム、排出ガス制御システムヒューズ(10 A)

6. ヘッドライト、テールライト、ナンバー灯(5 A)

7. エンジンコントロールユニット(イグニッション操作電源)、左右ライトシステム、方向指示器、ブレーキランプ、ダッシュボード、接続モジュール、IMU (オプション)、USBソケット(5 A)

C. メインヒューズの予備(30 A)

D. 予備ヒューズ(5 A, 7.5 A, 30 A)



通常のメンテナンス作業

ヒューズの取外し

⚠ この作業に十分な知識や自信がない場合、Fantic Motor 正規販売店へご依頼ください。

イグニッションスイッチをOFFにして、キーを抜いてください。

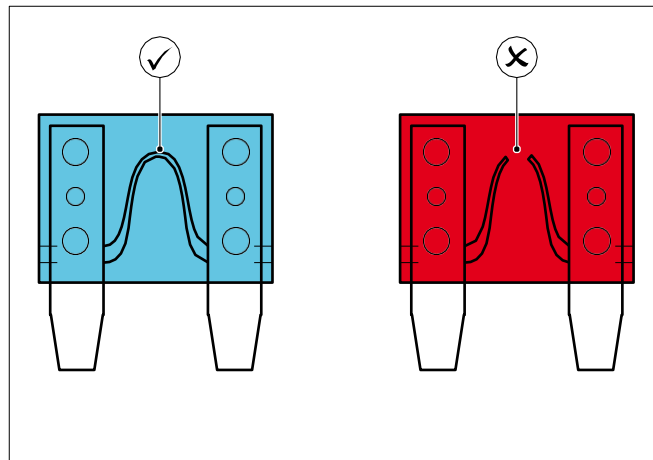
シートを取り外します（バッテリーページ参照）

ヒューズボックスカバーを取り外します。

ヒューズを1つずつ取外し、フィラメントが切れていないか確認します。

ヒューズが損傷している場合、同じアンペア数のヒューズと交換してください。

ヒューズボックスカバーとシートを取付けます。




通常のメンテナンス作業

車両の保管

車両を数カ月使用しない場合、いくつかの予防措置を行うことをお勧めします：

- 燃料タンクを空にします。
- 車両からバッテリーを取出し、2週間毎に適切な充電器で補充電してください。

 **バッテリーは乾燥した場所で保管し、保管場所の温度は5-35 °Cに保ってください。子供の手の届かない場所で保管してください。**

- 適切なスタンドを使用して、タイヤを地面から浮かせます。定期的にタイヤの状態を確認してください。
- チェーンに潤滑剤を塗布します。
- マフラーの先端をビニールなどで覆い、湿気や異物が入らないようにします。
- 車両全体を通気性のある適切なシート（カバー）で覆います。
- 車両は過熱されるような場所ではなく、可能な限り寒暖差のない条件で、また直射日光を避けて保管します。

保管後、再始動する前に：

- カバーを外し洗車してください。
- バッテリーの状態を確認します。
- 必ず運行前点検を行ってください。

 **長期保管後初の運転は、数キロメートルはテスト区間として車両の状態をよく観察しながら丁寧に、また交通量の少ない場所を選んで運転してください。**

通常のメンテナンス作業


洗車


車両を良好な状態に保つために定期的な洗車は重要です。

以下の条件で使用する場合、より頻繁に洗車することをお勧めします：


- 湿度が高い環境や、海岸地区など塩分濃度の高い環境下での使用
- 塩化カルシウムや凍結防止剤が使用されている道路や地域
- 工業粉塵やタール汚れのある道路や地域
- スポーツ走行やオフロード走行
- 昆虫の死骸や鳥の糞等が付着している場合

植物や樹木の下に車両を停車または駐車することをお勧めしません。一部の植物や樹木からは、車両の外装や部品に有害となる残留物、樹脂、果実、葉などが放出されます。

 **Fantic Motorは、品質に優れたケミカル剤などを用いて洗車することをお勧めします適切な製品を使用しない場合、車両や構成部品にダメージを負わせる恐れがあります。洗車や磨き上げには、アルコールやガソリンのような揮発性の強いケミカルは使用しないでください。環境にも優しい天然素材の中性液体石鹼を推奨します。**

 **高圧洗浄機やスチームクリーナーの使用は、車両のシール類、オイルシールやブレーキシステム、電装部品、ダッシュボードやシートにダメージを加える恐れがあります。Fantic Motorはこうした洗車機の使用は推奨していません。**

 **洗車前に必ずイグニッションキーをOFFにし、水の侵入を防ぐために適切なカバーでシートを保護してください。**

 **洗車の際、電子スロットルコントロール（ライド・バイ・ワイヤ）に直接水を当てないでください。水が電子部品に侵入し、故障の原因となる可能性があります。保護フィルムや防水カバーで覆うか、柔らかい湿らせた布で手作業で清掃することをお勧めします。刺激の強い洗剤は使用しないでください。**

通常のメンテナンス作業

洗車は強い日差しを避けて行ってください。特に夏など、ボディが日差しで熱気を帯びているような場合、洗剤が除去される前に乾燥し、ボディや塗装を痛める原因となりかねません。

プラスチック部品を洗浄する際、40℃を越える温度の液体を使用しないでください。

以下の箇所に高圧のエアジェット、上記、または水を向けしないでください：

- ホイールハブ
- ハンドルバーンスイッチ
- ベアリング
- ブレーキマスターシリンダーとリザーバータンク
- 工具および表示灯
- マフラーの出口
- ステアリングロック
- 燃料タンクキャップまたは類似のコンポーネント
- 灯火装置
- 電装部品
- デカール

汚れがひどい箇所には低圧の温水を利用します。また、柔らかいスポンジで車両全体を洗浄します。

低圧の水流で丁寧に洗い流します。その後、セーム革で拭き、よく乾燥させます。

洗車後はブレーキ性能が低下する可能性がありますので、ディスクパッドが乾くまで待つことをお勧めします。

洗車後の走行は十分に注意し、ブレーキを繰り返し操作して確実に制動することを確認してください。

細心の注意を払っての洗車が完了して初めて、シリコンワックスを使用した磨き上げのプロセスに進むことができます。

 **塗装面を痛めないためにも、研磨剤を含んだケミカルは使用しないでください。**

 **ブレーキシステムにはワックスを塗布しないでください。制動に支障をきたす可能性があります。**

 **シートにワックスを塗布しないでください。表皮を痛める恐れがあり、滑りやすくなることでライダーやパッセンジャーの安定性が低下し、事故の原因となる恐れがあります。**

通常のメンテナンス作業

推奨製品

- ① 潤滑剤および油脂製品は、規定されている仕様と同等か、同等以上の品質のものを使用してください。
補充、充填する際も同様です。

製品	特性	備考				
4ストロークエンジンオイル	SAE 10W40	ミネラルオイルは使用しない				
ベアリング、ジョイント、ピボット、レバー用グリース	リチウムグリース					
クーラント	有機添加物を含むエチレングリコールベースの不凍液	水で希釈しないこと				
フォークオイル	クッションオイルオイル粘度15W					
ドライブチェーン潤滑剤	シールチェーン用スプレーグリース					
ブレーキオイル	Dot 4 ブレーキフルード					
電子コネクタ用クリーナー	コンタクトクリーナー					
燃料	95-98 オクタン価の無鉛ガソリン (エタノール含有量最大10%)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">PETROL FUEL TYPE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E5</td> <td>E10</td> </tr> </tbody> </table>	PETROL FUEL TYPE		E5	E10
PETROL FUEL TYPE						
E5	E10					
ネジの緩み止め剤 (中強度)	ミディアム スレッドロッカー					
ネジの緩み止め剤 (高強度)	ストロング スレッドロッカー					
ボルト固定止めケミカル	アンチシーズ					
締結トルク用耐摩耗潤滑剤	エンジンオイル					
ゴムシール部品等の潤滑	リチウム石鹼グリース					

通常のメンテナンス作業

製品	特性	備考
バッテリーターミナル	ホワイトワセリングリス	
洗車	室温の低圧水 環境にやさしい中性液体石鹸	攻撃性の高い洗剤は避ける
ブレーキシステムの洗浄	スプレーブレーキクリーナー	ブレーキパッドやプラスチック部品の洗浄には使用しない

メンテナンスプラン

メンテナンススケジュール

- ① メンテナンススケジュールには、Fantic Motor車両の安全性と信頼性、および排出ガス規制に関して最高のパフォーマンスを維持するために必要なすべての操作が示されています。
- ⚠ 定期メンテナンスは、Fantic Motorが定める基準と仕様に従って適切に実施する必要があります。
- ⚠ お買い求めのFantic Motor 正規販売店に作業を依頼いただくことで、適切な訓練を受けた技術者が必要な設備を整えた作業場で定められた基準に従ってメンテナンスを実行します。
- ① ここで定めるスケジュールに則り、規定のサービスを正しく受けることで、車両が常に正しく適切な状態で整備されることが保証されます。
- ⚠ Fantic Motorは、ユーザーが実行した作業により、車両、財産および／または人や関連する対象物に対して生じた損害について、民事および刑事責任を一切負いません。
- ⚠ 雨天時や埃の多い場所、道路あるいは高速で走行した場合、定められたスケジュールよりも短い間隔でメンテナンスを実施してください。
- ⚠ 過酷な環境（埃や砂塵の多い場所、道路など）での使用や、そうした環境下で長期に渡って頻繁に使用した場合、必要に応じて車両の点検を強化し、早急に整備を実施してください。
- ⚠ 車両の走行距離が1000 kmに達していなくても、車両の使用開始から1年以内に最初の点検を受けることが重要です。
- ① 適切なタイミングでのメンテナンスは、保証の条件でもあります。

メンテナンスプラン

メンテナンススケジュール

- ① 以下のテーブル（表）には、Fantic Motor 正規販売店で行うべきメンテナンスについてのタイミングが示されています。
- ① このFantic Motor車両の定期点検整備は、7500km毎に1回の間隔です。
 （慣らし運転期間の終了時に予定されている1000kmでの初回点検整備は除きます）

項目	作業	頻度/タイミング (x 1000 km)					指定期間	指定距離
		1	7.5	15	22.5	30		
燃料系統	- 燃料パイプに亀裂や損傷がないか確認		✓		✓		毎年	
マップ確認	- ECUマップが最新のバージョンに更新されているか確認	✓	✓	✓	✓	✓		
エアフィルター	- 清掃		✓		✓			
	- 交換			✓		✓		
スパークプラグ	- 状態確認 - 清掃、電極ギャップの調整	✓	✓		✓			
	- 交換			✓		✓		
バルブ	- バルブクリアランスの確認 - 必要に応じて調整		✓	✓	✓	✓		
エンジンオイル	- オイルレベル、にじみ、漏れなどの確認	-						500km毎
	- 交換	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
エンジンオイルフィルター	- 交換	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
冷却システム	- 冷却水レベル、にじみ、漏れなどの確認	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
	- クーラントの交換	-					3年毎	
クラッチ	- 動作確認 - 必要に応じて調整	✓	✓	✓	✓	✓		

メンテナンスプラン

項目	作業	頻度/タイミング(x 1000 km)					指定期間	指定距離
		1	7.5	15	22.5	30		
ドライブチェーン	<ul style="list-style-type: none"> - 潤滑および洗浄 - スプロケットとのクリアランスを確認 - 必要に応じて調整 			-				500km毎
	<ul style="list-style-type: none"> - 必要に応じて交換 			①			-	-
バッテリー	<ul style="list-style-type: none"> - 充電レベルの確認 		✓	✓	✓	✓	✓	毎年
ブレーキシステム	<ul style="list-style-type: none"> - ブレーキ動作の確認 	✓	✓	✓	✓	✓		毎年
ブレーキフルード	<ul style="list-style-type: none"> - ブレーキフルードレベルの確認 	✓	✓	✓	✓	✓		毎年
	<ul style="list-style-type: none"> - 交換 			-				2年毎
ブレーキパッド	<ul style="list-style-type: none"> - 摩耗の確認 - 必要に応じて交換 	✓	✓	✓	✓	✓		
ブレーキディスク	<ul style="list-style-type: none"> - 摩耗の確認 - 必要に応じて交換 	✓	✓	✓	✓	✓		
ブレーキホース	<ul style="list-style-type: none"> - 亀裂、損傷などの確認 - 取付け状態、締付けの確認 	✓	✓	✓	✓	✓		毎年
ブレーキペダル、シフトペダル、クラッチレバーのピボットピン	<ul style="list-style-type: none"> - リチウム石鹸ベースのグリースで潤滑 	✓	✓	✓	✓	✓		
スロットルコントロール	<ul style="list-style-type: none"> - 動作確認 - スロットルコントロールコネクターの確認 	✓	✓	✓	✓	✓		
クラッチコントロール	<ul style="list-style-type: none"> - 動作確認 - クラッチレバーの遊びを確認、必要に応じて調整 - ケーブルとレバーの潤滑 	✓	✓	✓	✓	✓		
ホイールとタイヤ	<ul style="list-style-type: none"> - 状態と空気圧の確認 		✓	✓	✓	✓		毎年
ホイールベアリング	<ul style="list-style-type: none"> - ベアリングの緩み損傷の確認 		✓	✓	✓	✓		

メンテナンスプラン

項目	作業	頻度/タイミング(x 1000km)					指定期間	指定距離
		1	7.5	15	22.5	30		
ハンドルバー/ベアリング	-ベアリングの状態と、ハンドルバーの状態を確認	✓	✓	✓	✓	✓		
	-リチウム石鹼ベースのグリースで潤滑		✓	✓	✓	✓		
フォーク	-動作とオイル漏れの確認		✓	✓	✓	✓	毎年	
	-オイル交換			✓		✓		
	-オイルシールの交換			✓		✓		
リアショックアブソーバー	-動作とオイル漏れの確認		✓	✓	✓	✓	毎年	
リアサスペンションピボット	-スイングアームの動作確認		✓	✓	✓	✓		
	-ピボット部の動作角印 -適切なケミカルを用いて可動部の清掃、潤滑	✓	✓	✓	✓	✓		
パッセンジャーフットレスト	-状態の確認と、必要に応じて潤滑	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
サイドスタンド	-動作確認 -リチウム石鹼ベースのグリースで潤滑	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
サイドスタンドスイッチ	-動作確認	✓	✓	✓	✓	✓		
② 締結部/可動部品	-正しく動作するか確認、必要に応じてリチウム石鹼ベースのグリースで潤滑 -確実に締結されているか確認、クリアランスが規定値内か確認、ひつように応じて調整、締付け -摩耗状態を確認、必要に応じて交換	✓	✓	✓	✓	✓		

メンテナンスプラン

① ドライブチェーン: 下記の場合は交換してください:

- チェーンの摩耗、変形
- チェーンの調整が困難で合ったり、不可能な場合
- 限度を超える過度の伸び（規定値の最大2%が限度）
- リムおよびスプロケットのアライメントが正しく調整できない場合

② 可動部分や、ボルト／ナットで締結されている部品: 以下の点検を行ってください:

- ホイール（アクスルシャフト）固定ナット
- サスペンションリンケージ固定スクリュー／ボルト／ナット
- スイングアームピン
- ステアリングステム固定リングナット／ベアリング
- ハンドルバー固定ボルト／ナット
- フロンフォーク締結ボルト
- フロント／リアブレーキキャリパー固定スクリュー
- ヘッドライト固定スクリュー
- ハンドルバーコントロールスイッチ固定スクリュー／ナット
- バックミラー固定ボルト／ナット
- ライダー／パッセンジャーのフットレスト固定ピン

テクニカルデータ

テクニカルデータ		
全長	Scrambler/Deluxe	2152 mm
	Rally	2194 mm
全幅		868 mm
全高	Scrambler/Deluxe	1135 mm
	Rally	1202 mm
ホイールベース	Scrambler/Deluxe	1426 mm
	Rally	1455 mm
車両重量 (燃料90%を含む装備状態)		160 kg
最大積載量(ライダー + パッセンジャー + 荷物)		170 kg
車両総重量(車両本体 + ライダー + パッセンジャー + 荷物)		330 kg
エンジンタイプ		4-stroke single cylinder
シリンダー数		1
総排気量		463.25 cc
ボア/ストローク		96 mm /64 mm
圧縮比		12.5:1
始動方法		Electric
アイドル回転数		1600 ± 200 rpm
クラッチ		オイルバス・マルチディスク (ハンドルバー左側クラッチレバーで制御)
潤滑システム		オイルバス式 ケーシングトロコイドポンプ制御による圧力システム
冷却システム		水冷
クーラント		1L

テクニカルデータ

テクニカルデータ		
ギアボックス		6速 エンジン左側のペダルで制御
減速比	Scrambler/Deluxe	1次減速比: 2.286
		1速ギア比: 2.357
		2速:ギア比 1.824
		3速ギア比: 1.474
		4速ギア比: 1.182
		5速ギア比: 1.000
		6速ギア比: 0.846
		2次減速比: 45/14
減速比	Rally	1次減速比: 2.286
		1速ギア比: 2.357
		2速ギア比: 1.824
		3速ギア比: 1.474
		4速ギア比: 1.182
		5速ギア比: 1.000
		6速ギア比: 0.846
		2次減速比: 45/14
ドライブチェーン	Scrambler/Deluxe	520 - Links: 108
	Rally	520 - Links: 110

テクニカルデータ

テクニカルデータ	
エアフィルター	Synthetic
燃料	95-98 オクタン価の無鉛ガソリン
燃料タンク容量(予備量を含む)	11.5L
予備燃料	3.5L
エンジンオイル	総容量: 1.8L
	オイルフィルター交換時: 1.6L
フューエルシステム	EFI/40mmスロットルボディ
フレーム	鍛造アルミニウムプレートを備えた ダブルクレードルスチールフレーム
スイングアーム	Scrambler/Deluxe スチールスイングアーム
	Rally アルミスイングアーム
サスペンションアングル (サスペンションが伸びた状態)	24.5°
ステアリングアングル (両側)	39° ± 1°

テクニカルデータ

テクニカルデータ		
フロントサスペンション	Scrambler/Deluxe	ø41倒立フォーク ストローク150mm
	Rally	右側にスプリングプリロード、左側に減衰力調整機構を備えたø43倒立フォーク ストローク200mm
リアサスペンション	Scrambler/Deluxe	プリロード調整可能なリンク式モノショックアブソーバー ストローク56 ± 2 mm
	Rally	プリロードおよび減衰力調整可能なリンク式モノショックアブソーバー ストローク76 ± 2 mm
フロントブレーキ	型式	28 mm 4ピストンキャリパー 320 mm フローティングディスク
	ディスクローターの 限界値	4.5 mm
	ブレーキパッドの 限界値	2 mm
リアブレーキ	型式	32 mm シングルピストンキャリパー 230 mm ディスク
	ディスクローターの 限界値	3.5 mm
	ブレーキパッドの 限界値	2 mm

テクニカルデータ

テクニカルデータ		
リム (Scrambler/Deluxe)	タイプ	アルミスポークリム
	サイズ	フロント: 2.50 x 19" リア: 3.50 x 17"
タイヤ (Scrambler/Deluxe)	タイプ	チューブレスタイヤ (チューブ使用)
	サイズ	フロント: 110/80 R19 リア: 140/80 R17
	タイヤ空気圧	フロント: 1.9 bar (190 kPa ± 10) リア: 2.1 bar (210 kPa ± 10)
	標準装着タイヤ	Pirelli Scorpion Rally STR
リム (Rally)	タイプ	アルミスポークリム
	サイズ	フロント: 1.85 x 21" リア: 3.50 x 17"
タイヤ (Rally)	タイプ	チューブレスタイヤ (チューブ使用)
	サイズ	フロント: 90/90 R21 リア: 140/80 R17
	タイヤ空気圧	フロント: 1.9 bar (190 kPa ± 10) リア: 2.1 bar (210 kPa ± 10)
	標準装着タイヤ	Pirelli Scorpion Rally STR

テクニカルデータ

テクニカルデータ	
ABS システム	キャンセル機能を備えた2チャンネルABSシステム
スパークプラグ	NGK LMAR9AI-8
バッテリー	12V - 6 Ah
ヒューズ	メインヒューズ: 30 A セカンダリーヒューズ: 30 A (1), 10 A (1), 7.5 A (1), 5 A (4)
ジェネレーター	12V - 300 W
ターンシグナル	LED
ヘッドライトHigh/Lowビーム	LED
ポジション/ブレーキライト	LED
ライセンスプレートライト	LED

適合宣言 EU 適合 2014/53/EU



EU適合宣言（簡略版）：

あなたの車両にはさまざまな無線機器が装備されています。この無線機器の製造元は、法律で義務付けられている場合、これらの機器が指令2014/53/EUに準拠していることを宣言します。EU 適合宣言の全文は、次の Web アドレスで入手できます：
www.Fantic.com/RED

無線部品メーカーの所在：

すべての無線コンポーネントには、指令 2014/53/EU の規定に従ってメーカーのアドレスが記載されている必要があります。サイズや性質上、ステッカーを貼ることができないコンポーネントについては、法律で義務付けられている各メーカーの住所を表 2に示します。

TAB.1

RADIO DEVICE INSTALLED ON THE VEHICLE	FREQUENCY BAND	RADIO TRASMISSION MAX POWER
E-CONNECT MICRO		
Bluetooth®	2402-2480MHz	< 20 dBm e.i.r.p.

TAB.

RADIO DEVICE InSTALLED On THE VEHICLE	IMPORTER
E-CONNECT MICRO	e-Shock - Via San Martino 12 (20122) Milan, Italy



注記:

熟練した技術者のみがデバイスにアクセスして取付けることができます。